

事務事業評価調査

事業名	自転車安全利用啓発事業					部(局)	県民生活部					
						所管課	特殊詐欺対策・くらし安全課					
						担当班	交通安全対策班					
						連絡先	078-362-9071					
開始年度	平成14年度	終了年度	令和10年度	関連計画等	兵庫県自転車活用推進計画							
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業											
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()					実施主体等	県					
事業目的	「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、関係機関と連携した自転車利用者の交通ルール・利用マナーの更なる徹底を図る 県民への自転車ヘルメット着用意識を高め、自転車ヘルメット着用率を上げることにより、県内の自転車事故の死者数を減らす。											
事業概要	チラシ・動画・交通安全教室など様々な媒体等による切間のない着用促進の啓発の実施 ・県内の自転車事故多発市町にて中学生・高校生を中心に市町等と連携して交通ルールなどを啓発 ・四季の運動等交通安全イベントによるヘルメット着用促進の啓発（R6） 地区交通安全協会等実施イベント時のチラシ等配布、チラシ電子データの市町及び交通安全ネットワークへの配布による啓発 ・動画作成によるヘルメット着用促進の啓発（R6） 着用促進をPRする動画を作成し、配信などによる啓発 ・ヘルメット着用促進高校生等交通安全教室の実施による啓発 高校生等に向け、ヘルメット着用の重要性を、交通事故の疑似体験等を通じて学ぶ交通安全教室を実施（委託）し、ヘルメット着用促進を啓発											
これまでの改善状況	兵庫県は自転車利用者のヘルメット着用率が全国に比べ低いため、別途、R5年度9月補正で自転車利用率の高い学生や子育て世代及び自転車事故による死者数が多い高齢者に対して1人4千円の購入支援の緊急対策（自転車ヘルメット購入応援事業）を実施。											
業務フロー	県→【啓発チラシ（紙・データ）】→〔地区交通安全協会・市町・交通安全ネットワーク等〕→県民 県→【啓発動画】→〔県HP等〕→県民 県→【交通安全教室】→高校生等											
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額			
	事業費①		5,161 千円		6,502 千円		2,232 千円		154 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円			
		委託料	2,750 千円		4,987 千円		2,079 千円		0 千円			
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円			
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円			
		その他	2,411 千円		1,515 千円		153 千円		154 千円			
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)			
		（特定）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)			
		（起債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)			
		（一般財源）	(5,161千円)		(6,502千円)		(2,232千円)		(154千円)			
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		5,628 千円		7,526 千円		2,232 千円		154 千円			
	執行率（（①/②）×100）		91.7%		86.4%		100.0%		100.0%			
	人件費③（a+b+c）		従事人員	0.6人	従事人員	1.5人	従事人員	0.6人	従事人員	0.2人		
			4,950 千円		12,929 千円		5,330 千円		1,888 千円			
			職員給与費 a		4,294 千円		11,084 千円		4,592 千円		1,642 千円	
			賞与引当金繰入額 b		356 千円		936 千円		395 千円		125 千円	
		退職手当引当金繰入額 c		300 千円		909 千円		343 千円		121 千円		
総コスト（①+③）		10,111 千円		19,431 千円		7,562 千円		2,042 千円				

事務事業評価調書

指標名		区 分	5年度 実績	6年度 実績	7年度 実績	8年度 目標	最終目標 【年度】
評	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	5,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	自転車関係事故件数	実 績（見込）	4,184	3,870	3,592	(3,518)	【R15年度】
		(単位当たりコスト)	(2 千円)	(5 千円)	(2 千円)	(1 千円)	
		達成率（見込）	83.7%	129.0%	(119.7%)	(117.3%)	
価	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	16	16	12	12
	自転車事故死亡者数	実 績（見込）	—	12	15	(12)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	—	(1,619 千円)	(136 千円)	(170 千円)	
		達成率（見込）	—	(75.0%)	(93.8%)	(100.0%)	
指	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	17.0	21.2	21.2	全国平均
	自転車ヘルメット着用率 ※R5全国平均(13.5%) R6全国平均(17.0%) R7全国平均(21.2%)	実 績（見込）	—	7.7	9.8	(9.8)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	—	(2,523 千円)	(772 千円)	(208 千円)	
		達成率（見込）	—	45.3%	(46.2%)	(46.2%)	
標	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	—	5	3	0	5
	高校生交通安全教室実施回数	実 績（見込）	—	5	3	(0)	【R10年度】
		(単位当たりコスト)	—	(3,886 千円)	(2,521 千円)	—	
		達成率（見込）	—	(100.0%)	(100.0%)	—	
指	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
標	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
終期設定		○有（ 令和１０年度 ） ・ 無					
改善基準		自転車事故者数及び着用率の成果を踏まえ検討					
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		自転車関係事故件数の減少のため、市町や関係機関と連携して普及啓発の取り組んでいる。		自転車関係事故件数は市町など関係機関と連携し、交通ルールや利用マナーなどを学校で教室を開くなど普及啓発に努め、実績件数は減少傾向である。 H30:5,881件、R元:5,716件、R2:4,311件、R3:4,344件、R4:4,162件、R5:4,184件、R6:3,870件、R7:3,592件		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		民間・大学等のノウハウ等を生かすよう努めるとともに、動画や配信等を活用して、自転車ヘルメットの着用促進を行い自転車事故死亡者数を減らしていく。また、スタントマンを使った疑似交通事故教室についてはより効率的な手法を検討しているため今年度は実施しない。		R5年度から自転車ヘルメット着用が努力義務化されたが兵庫県は着用率が全国的に比べ低いため、自転車ヘルメット着用促進の動画・配信や交通安全教室などを活用して積極的な普及啓発を行う。		
	課題・今後の方向性						
評	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☒ その他						
	説明						
価	交通安全には特効薬があるわけではなく、繰り返し継続した意識付け・注意喚起が大切であるため、今後も有効な手段を検討しながら、引き続き普及・啓発を実施していく。						

事務事業評価調査

事業名	ひょうご出会い支援事業				部(局)	県民生活部					
					所管課	男女青少年課					
					担当班	男女共同参画班					
					連絡先	078-362-4185					
開始年度	令和5年度		終了年度	—		関連計画等					
事業区分	☒ 国補助事業 ☐ 県単独事業										
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等						
事業目的	少子化の大きな要因の一つである「晩婚化・未婚化の進行」に対する取組として、社会全体で結婚を支援するため、ひょうご出会いサポートセンターを運営し、個別お見合い紹介・出会いイベント等を通じて独身男女の出会い・結婚を支援する。										
事業概要	(1)個別お見合い紹介（出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート） センタースタッフが登録会員に対し、プロフィールの書き方からお相手選び、お見合い、交際に至るまでのサポートを実施。 (2)出会いイベント等の実施・紹介 一度に複数の相手と話をすることができる出会いイベントを実施。また、協賛団体が行うイベントについても会員へ紹介し、希望に合ったイベントに参加できる機会を提供。県内各地で出張相談会や結婚力アップセミナーを開催する等、成婚へ向けた会員の後押しも実施する。										
これまでの改善状況	H31～ 日曜日を開所 R2～ スマホ婚活システムの導入、大手民間婚活事業者3者と連携協定を締結 R4～ 県政改革方針により、R5年度から地域センター（10カ所）を神戸センター1カ所へ統合した上での事業継続を決定 R5～ 重点政策枠事業（本事業）として組み替え事業実施 会員登録など全ての手続きのオンライン化と、会員の価値観に基づきAIがお相手を紹介する機能を備えた新システムの運用を開始 R6～ ひょうご出会いサポートセンター運営事業者を企画提案コンペで選定										
業務フロー	ひょうご出会いサポートセンターの運営を委託（運営事業者はコンペで決定） (1)出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート 会員登録・プロフィール記入⇒プロフィール閲覧・お見合い申込⇒お見合い⇒交際⇒成婚 (2)出会いイベントの実施・紹介 イベントの企画・実施・募集にかかるメール配信、SNSでの情報発信										
事業に要するコスト	区 分		5 年度決算額		6 年度決算額		7 年度決算額		8 年度当初予算額		
	事業費①		90,619 千円		36,913 千円		40,142 千円		42,239 千円		
	経 費 内 訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		委託料	90,619 千円		36,913 千円		40,142 千円		42,239 千円		
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	（財源内訳）	（国庫）	(29,061千円)		(18,733千円)		(24,468千円)		(24,388千円)		
		（特定）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		（起債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		（一般財源）	(61,558千円)		(18,180千円)		(15,674千円)		(17,851千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		87,498 千円		43,822 千円		41,723 千円		42,239 千円		
	執行率（（①/②）×100）		103.6%		84.2%		96.2%		100.0%		
	人件費③（a+b+c）		従事人員	1.0人		従事人員	1.0人		従事人員	1.0人	
			8,250 千円		8,619 千円		8,884 千円		9,438 千円		
			職員給与費 a	7,156 千円		7,389 千円		7,653 千円		8,208 千円	
		賞与引当金繰入額 b	594 千円		624 千円		659 千円		624 千円		
		退職手当引当金繰入額 c	500 千円		606 千円		572 千円		606 千円		
総コスト（①+③）		98,869 千円		45,532 千円		49,026 千円		51,677 千円			

事務事業評価調査

	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	200	200	200	92	92
	ひょうご出会い支援事業による成婚数 （組）	実 績（見 込）	73	69	103	(92)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(1,354 千円)	(660 千円)	(476 千円)	(562 千円)	
		達 成 率（見 込）	36.5%	34.5%	(51.5%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	3,112	4,000	5,000	2,050
	お見合い実施回数	実 績（見 込）	1,840	1,864	1,998	(2,050)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(54 千円)	(24 千円)	(25 千円)	(25 千円)	
		達 成 率（見 込）	59.1%	46.6%	(40.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
活動指標（アウトプット指標①）		目 標	3,500	4,500	3,289	3,354	3,549
	はばタン会員登録者数	実 績（見 込）	3,159	3,489	3,351	(3,354)	【R11年度】
		（単位当たりコスト）	(31 千円)	(13 千円)	(15 千円)	(15 千円)	
		達 成 率（見 込）	90.3%	77.5%	(101.9%)	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	4,000	6,000	1,290	1,290	1,290
出会いイベント参加者数	実 績（見 込）	1,290	1,127	964	(1,290)	【R11年度】	
	（単位当たりコスト）	(77 千円)	(40 千円)	(51 千円)	(40 千円)		
	達 成 率（見 込）	32.3%	18.8%	(74.7%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
	実 績（見 込）	—	—	—	—		
	（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
	達 成 率（見 込）	--	--	--	--		
	終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ 民間の結婚相談所は高額で手が出しにくく、安価な婚活アプリはなりすまし等の不安があるため、利用をためらう県民にとって有用。 ・ 公的機関が運営をしていることへの安心感は大きく、利用者の入会理由の大きな要因となっており、婚活の第一歩として有効な事業となっている。	近年、新たな出会いの場として定着したマッチングアプリの影響等もあり、会員数やイベント参加者数に減少傾向が見られるが、アプリには結婚に対する真剣度の違いや身元等の信頼性の問題が指摘されており、行政が提供する安心・安全かつ低コストな出会い支援事業に対するニーズも低くない。R7年度は、お見合い実施回数や成婚組数も増加しており、今後も引き続き知見を持つスタッフによる効果的な支援により成婚組数増加を目指す。				
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	・ 民間イベントが少ない地域での、出会いイベントや結婚力アップセミナー、出張相談会の開催など成婚に向けた取組を実施。 ・ R4年度末には県内10ヵ所、東京の地域センターを神戸センターに統合。 ・ R5年度、会員の利便性確保のため、手続きのオンライン化やAI マッチング機能を備えた新システムを導入。 ・ R6年度からは民間事業者による効率的な運営により事業費を大きく削減。					
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 センターの運営事業者は、企画提案コンペで選定。利用者のニーズに沿った新しい企画・事業を展開するとともに、きめ細やかなサービスを提供し、新規会員の獲得、成婚数の向上を目指す。						

事務事業評価調書

事業名	防犯カメラ設置補助事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	特殊詐欺対策・くらし安全課	
					担当班	特殊詐欺等対策班	
					連絡先	078-362-3163	
開始年度	平成22年度	終了年度	—	関連計画等	第7期地域安全まちづくり推進計画		
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業						
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	市町	
事業目的	防犯カメラの設置を促進するため、平成22年度から補助事業を実施し、犯罪発生時に被疑者を追跡できる設備として、重要性和早期解決への効果が認められ、さらなる設置に対してニーズが高まっている。市町のニーズに応じた地域防犯力の向上を支援するため、防犯カメラ設置補助事業を主体的に行う市町に対して補助を行う。						
事業概要	補助対象者：市町（地域団体への間接補助） 補助対象経費：地域団体が、犯罪予防を目的として公道等に常設する、映像の撮影、記録等の機能を有する機器（防犯カメラシステム）及び防犯カメラ設置を明示する標識の購入並びに設置工事に要する経費 補助額：1か所当たり4万円（R6年度～） 補助箇所数：250か所						
これまでの改善状況	（1か所当たり補助額）H22～H24年度：18万円、H25～R3年度：8万円、R4年度～：6万円、R6年度～：4万円						
業務フロー	申請（地域団体）→受付・審査・申請（市町）→受付・審査（県）→交付（県）						

区 分		5年度決算額	6年度決算額	7年度決算額	8年度当初予算額		
事業に要するコスト	事業費①	21,352 千円	9,716 千円	10,000 千円	10,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		補助金・交付金	21,352 千円	9,716 千円	10,000 千円	10,000 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（特定）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(21,352千円)	(9,716千円)	(10,000千円)	(10,000千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		30,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	
	執行率（(①/②）×100）		71.2%	97.2%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人
			4,125 千円	4,310 千円	4,443 千円	4,719 千円	
		職員給与費 a	3,578 千円	3,695 千円	3,827 千円	4,104 千円	
賞与引当金繰入額 b		297 千円	312 千円	330 千円	312 千円		
退職手当引当金繰入額 c		250 千円	303 千円	286 千円	303 千円		
総コスト（①+③）		25,477 千円	14,026 千円	14,443 千円	14,719 千円		

評価	指標名	区 分	5年度	6年度	7年度	8年度	最終目標	
			実績	実績	実績	目標	【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	
		実 績（見 込）	37,267	37,817	39,899	(33,000)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	(1 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)		
		達 成 率（見 込）	112.9%	114.6%	120.9%	(100.0%)		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	評価	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	500	250	250	250	250
			実 績（見 込）	400	292	324	(250)	【各年度】
			（単位当たりコスト）	(64 千円)	(48 千円)	(45 千円)	(59 千円)	
			達 成 率（見 込）	80.0%	116.8%	129.6%	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
指標設定		有（ ） ・ （無）						
		改善基準						
自己評価		評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		地域の防犯力向上につながる新規設置への市町や地域防犯団体等からのニーズを踏まえながら、事業を実施している。		市町による防犯カメラ事業の取組を促進するため、県が先導的に取り組んできた事業であるが、H29年度には全市町で随伴補助など何らかの取組が行われ、また、市町の独自補助・直接設置も増加しているなど、一定の目的は達成されている。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		近年の防犯カメラ設置費用の状況を踏まえ、R4年度に補助額を1か所当たり6万円に減額し、さらにR6年度に同4万円に減額している。					
評価	課題・今後の方向性							
	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明							
評価	地域の防犯は、住民により近い市町が地域の実情に応じて主体的に取り組むものとの認識から、R5年度から県の直接補助から市町への間接補助に移行するとともに、近年の防犯カメラ設置費用の状況を踏まえ、R6年度からは補助額を4万円/箇所に見直している。 今後も市町のニーズや設置費用所要額を適宜把握し、事業の改善に努める。							

事務事業評価調書

事業名	犯罪被害者等支援推進事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	特殊詐欺対策・くらし安全課	
					担当班	地域安全対策班	
					連絡先	078-362-3173	
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県犯罪被害者等支援計画		
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業						
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等	県・(公社)ひょうご被害者支援センター	
事業目的	犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例に基づき令和5年10月に設置した「兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口」において、個々の事情を踏まえた必要な支援をコーディネートする。						
事業概要	兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口の設置 (R5年度～) 委託先：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：ワンストップ相談、支援コーディネート、市町・生活支援事業者研修 等						
これまでの改善状況	—						
業務フロー	ひょうご被害者支援センターと委託契約						

事業に要するコスト	区 分		5年度決算額	6年度決算額	7年度決算額	8年度当初予算額
	事業費①		9,642 千円	11,446 千円	11,446 千円	12,620 千円
	経費内訳	報酬・賃金	113 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	9,472 千円	11,446 千円	11,446 千円	12,620 千円
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	57 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(9,642千円)	(11,446千円)	(11,446千円)	(12,620千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		10,349 千円	12,711 千円	12,668 千円	12,620 千円
	執行率 ((①/②) × 100)		93.2%	90.0%	90.4%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人
			8,250 千円	8,619 千円	8,884 千円	9,438 千円
	職員給与費 a	7,156 千円	7,389 千円	7,653 千円	8,208 千円	
	賞与引当金繰入額 b	594 千円	624 千円	659 千円	624 千円	
	退職手当引当金繰入額 c	500 千円	606 千円	572 千円	606 千円	
総コスト (①+③)		17,892 千円	20,065 千円	20,330 千円	22,058 千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】	
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	5	5	5	5	5	
価	複数の関係機関による支援実施件数	実 績（ 見 込 ）	0	1	0	(5)	【R9年度】	
		(単位当たりコスト)	--	(20,065 千円)	--	(4,412 千円)		
		達 成 率（ 見 込 ）	0.0%	20.0%	(0.0%)	(100.0%)		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（ 見 込 ）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達 成 率（ 見 込 ）	--	--	--	--		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（ 見 込 ）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達 成 率（ 見 込 ）	--	--	--	--		
	指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	200	200	200	200	200
			実 績（ 見 込 ）	68	81	86	(200)	【R9年度】
			(単位当たりコスト)	(263 千円)	(248 千円)	(236 千円)	(110 千円)	
			達 成 率（ 見 込 ）	34.0%	40.5%	(43.0%)	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（ 見 込 ）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達 成 率（ 見 込 ）	--	--	--	--		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（ 見 込 ）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達 成 率（ 見 込 ）	--	--	--	--		
標		終期設定	有（ ） ・ 無					
		改善基準	R6年度以降の電話相談件数が100件を下回る状況が続く場合に事業内容の見直しを検討					
自		評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		総合相談窓口の開設以降、不安や悩みを抱える犯罪被害者等からの相談に、専門知識・経験を有する犯罪被害相談員が対応している。		犯罪被害に関する相談のワンストップ窓口として、不安や悩みを抱える犯罪被害者等に適切な助言等を行っている。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		相談員は必要最低限の人数（2名）を配置し、効率的な運営に努めている。					
	課題・今後の方向性							
評	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他							
	説明 総合相談窓口の周知を一般県民はもとより、市町や関係団体など支援関係者に幅広く行い、相談の掘り起こしと複数機関による支援の充実を図る。事業のあり方については、現在設置している計画改定検討会議等からの意見を踏まえ、改善を図っていく。							
価								

事務事業評価調書

事業名	性被害ケアセンター設置等事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	特殊詐欺対策・くらし安全課				
					担当班	地域安全対策班				
					連絡先	078-362-3173				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県犯罪被害者等支援計画					
事業区分	☒ 国補助事業 ☐ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	県・(公社) ひょうご被害者支援センター				
事業目的	性暴力被害者の心身の負担軽減、被害の潜在化を防止するため、専用相談窓口を設け、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談、心のケア等を一体的に行う性暴力ワンストップ支援センターを設置する。 併せて、ワンストップ支援センター設置を契機に、より性犯罪等犯罪被害者等が抱える課題の理解促進を図るため、犯罪被害者等の心情への配慮や二次被害の防止の普及啓発を支援する。									
事業概要	性被害ケアセンター「よりそい」の設置 委託先(一部補助)：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：専用電話相談、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談・心理相談 等									
これまでの改善状況	R3. 10. 1に内閣府が開設した夜間休日対応コールセンターとの連携により、相談受付を365日24時間体制とした。									
業務フロー	委託：ひょうご被害者支援センターと委託契約 補助：申請(ひょうご被害者支援センター)→受付・審査(県)→交付(県)									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		6,008 千円		6,293 千円		6,279 千円		8,312 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	6,008 千円		6,293 千円		6,279 千円		7,874 千円	
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		438 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(2,949千円)		(3,130千円)		(3,250千円)		(4,054千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(3,059千円)		(3,163千円)		(3,283千円)		(4,258千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,672 千円		8,438 千円		8,416 千円		8,312 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		78.3%		74.6%		74.6%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			8,250 千円		8,619 千円		8,884 千円		9,438 千円	
	職員給与費 a		7,156 千円		7,389 千円		7,653 千円		8,208 千円	
	賞与引当金繰入額 b		594 千円		624 千円		659 千円		624 千円	
	退職手当引当金繰入額 c		500 千円		606 千円		572 千円		606 千円	
	総コスト (①+③)		14,258 千円		14,912 千円		15,163 千円		17,750 千円	

事務事業評価調書

指標名		区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	60	60	60	60	60	
		実績（見込）	34	71	58	(60)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	(439 千円)	(214 千円)	(261 千円)	(296 千円)		
		達成率（見込）	56.7%	118.3%	(96.7%)	(100.0%)		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
	指標	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	800	800	800	800	800
			実績（見込）	999	875	1,402	(800)	【各年度】
			（単位当たりコスト）	(15 千円)	(17 千円)	(11 千円)	(22 千円)	
			達成率（見込）	124.9%	109.4%	(175.3%)	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
終期設定		有（ ） ・ 無						
改善基準								
自己評価		評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		<u>○有効性（評価指標に対する実績）</u> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		性暴力被害者が心身のケア等を求める中、専門知識・経験を有する相談員が適切に支援を行っている。		「よりそい」の小、中、高等学校に対する周知等、積極的な広報活動による認知度の高まりにより、電話相談件数や面接相談・同行支援件数は、概ね安定的に推移している。		
	<u>○効率性（最小のコストで最大の効果）</u> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		性暴力被害者への支援経験が豊富な民間団体へ委託している。					
課題・今後の方向性								
評価	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他							
	説明 刑法改正により性犯罪の構成要件が拡大したこともあり、認知件数が増加している中、被害の潜在化を防ぐために、ワンストップ支援センターの更なる広報や関係機関との連携強化に努める。							

事務事業評価調査

事業名	芸術文化に親しむひょうご推進事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	芸術文化振興班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成23年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業						
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()					実施主体等	
事業目的	地域バランスが偏ることなく、県内全体において、身近に芸術文化に親しむことのできる環境の充実を実現させることで人々の暮らしに潤いをもたらすとともに、芸術文化の振興を目指す。						
事業概要	県内に活動拠点を有し、一定の芸術文化活動の経歴を有する個人・グループに対し、舞台芸術の公演、美術作品の展示等の事業、メディア芸術の発表及び文芸作品の出版事業にかかる経費のうち会場費、印刷費等を補助する。						
これまでの改善状況	H25：会場利用料の実態から、より少額な補助金額区分を新設。 H26：補助金額が補助対象経費の1/2を超えていたため、補助金額の区分を見直し。過去の補助対象経費平均から、最高額の補助に必要な補助対象経費を減額。 R3：補助金額が補助対象経費の概ね1/2～1/3になるよう、補助金額の区分を見直し。 R4：オンラインによる申請を導入。						
業務フロー	申請（団体）→審査・交付決定（県）→事業実施・実績報告（団体）→審査・補助金額確定（県）						

区 分		5 年度決算額	6 年度決算額	7 年度決算額	8 年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	8,180 千円	8,060 千円	7,140 千円	6,280 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	8,180 千円	8,060 千円	7,140 千円	6,280 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定：宝くじ発行益収入)	(8,180千円)	(8,060千円)	(7,140千円)	(6,280千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		8,040 千円	8,040 千円	8,040 千円	6,280 千円
	執行率（(①/②）×100）		101.7%	100.2%	88.8%	100.0%
	人件費③（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
			2,475 千円	2,586 千円	2,665 千円	2,831 千円
		職員給与費 a	2,147 千円	2,217 千円	2,296 千円	2,462 千円
賞与引当金繰入額 b		178 千円	187 千円	198 千円	187 千円	
退職手当引当金繰入額 c		150 千円	182 千円	172 千円	182 千円	
総コスト（①+③）		10,655 千円	10,646 千円	9,805 千円	9,111 千円	

事務事業評価調書

指標名		区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	40	40	40	40	50	
	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	実 績（見 込）	37.6	39.2	38.3	40.0	【R12年度】	
		（単位当たりコスト）	(283 千円)	(250 千円)	(256 千円)	(228 千円)		
		達 成 率（見 込）	94.0%	98.0%	95.8%	(100.0%)		
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		活動指標（アウトプット指標①）	目 標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
	指標	鑑賞者数	実 績（見 込）	23,791	24,975	26,957	(40,000)	【R8年度】
			（単位当たりコスト）	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	
			達 成 率（見 込）	59.5%	62.4%	67.4%	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）			目 標	79	79	79	79	79
補助件数		実 績（見 込）	69	69	67	(79)	【R8年度】	
		（単位当たりコスト）	(154 千円)	(142千円)	(146千円)	(115 千円)		
		達 成 率（見 込）	87.3%	87.3%	84.8%	(100.0%)		
		活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準								
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		県民の芸術文化活動を支援する事業として個人、団体からの需要も高く、非常に多くの申請が寄せられている。		本事業には多くの申請が寄せられており、県内で芸術文化活動に取り組む個人・団体の日頃の活動成果を発表する機会の創出に寄与していると考えられる。今後も事業ニーズを踏まえ、事業の円滑な実施に努めながら、補助件数及び鑑賞者数の目標達成を目指したい。			
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		R5年度からは債権者登録オンライン申請も活用し、申請者負担の軽減に取り組んだ。					
課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 { 申請者の利便性向上や事業の効果的な実施に向けた取組を進め、より多くの県民に事業の活用を促していく。								

事務事業評価調書

事業名	県民芸術劇場の開催				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	芸術文化振興班				
					連絡先	078-362-3171				
開始年度	平成3年度	終了年度	—		関連計画等	芸術文化振興ビジョン				
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会				
事業目的	県内における芸術文化活動の向上発展と、心の豊かさを育むため、小学生、高校生、一般を対象に、音楽、演劇などの優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会や参加・体験できる機会を提供するとともに、県内の舞台芸術団体等の育成、公立文化施設の活性化を図る。									
事業概要	公立文化施設、学校(小学校、高校)を対象に、当事業に登録された芸術文化団体の演目から選択し公演を開催する際の経費の一部を補助する。									
これまでの改善状況	H23：学校公演のうち中学校公演を当面の間停止(中学生を対象とする他事業があるため) R5：登録団体の活性化に向けた改善(新規団体募集、優秀団体公演の実施等)									
業務フロー	(公財)芸術文化協会より、地元主催者(学校・施設等)へ実施希望を調査、希望に応じて、公演団体への依頼、出演料の支払を行う。 県 ④補助 協会 公演団体 主催者 ①希望調査 ②公演依頼 ③出演料支払									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		31,170 千円		27,971 千円		25,001 千円		24,099 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	31,170 千円		27,971 千円		25,001 千円		24,099 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定:芸術文化振興基金繰入金)	(31,170千円)		(27,971千円)		(25,001千円)		(24,099千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		35,442 千円		28,471 千円		25,451 千円		24,099 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		87.9%		98.2%		98.2%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			825 千円		862 千円		888 千円		944 千円	
		職員給与費 a	716 千円	739 千円	765 千円	821 千円				
		賞与引当金繰入額 b	59 千円	62 千円	66 千円	62 千円				
		退職手当引当金繰入額 c	50 千円	61 千円	57 千円	61 千円				
総コスト (①+③)		31,995 千円		28,833 千円		25,889 千円		25,043 千円		

事務事業評価調査

指標名		区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	40	40	40	40	50
	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	実 績（見 込）	37.6	39.2	38.3	(40)	【R12年度】
		(単位当たりコスト)	(767 千円)	(660 千円)	(676 千円)	(626 千円)	
		達 成 率（見 込）	94.0%	98.0%	95.8%	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	90	90	90	90
	学校公演の観客満足度（%）	実 績（見 込）	95.2	94.3	94.5	(90)	【R8年度】
		(単位当たりコスト)	(303 千円)	(275 千円)	(274 千円)	(278 千円)	
		達 成 率（見 込）	105.8%	104.8%	105.0%	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—	
		活動指標（アウトプット指標①）	目 標	102	89	89	89
	県民芸術劇場の公演数	実 績（見 込）	73	85	74	(60)	【R8年度】
		(単位当たりコスト)	(395 千円)	(305 千円)	(350 千円)	(417 千円)	
		達 成 率（見 込）	71.6%	95.5%	83.1%	(67.4%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
県民芸術劇場の鑑賞者数（21世紀兵庫 長期ビジョンフォローアップ指標） ※県民文化普及事業との合算	実 績（見 込）	61,060	61,437	61,437	(120,000)	【R8年度】	
	(単位当たりコスト)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)		
	達 成 率（見 込）	50.9%	51.2%	51.2%	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	510	510	510	510	510
1公演あたり平均観客数（人/公演）	実 績（見 込）	474	472	418	(510)	【R8年度】	
	(単位当たりコスト)	(61 千円)	(55 千円)	(62 千円)	(49 千円)		
	達 成 率（見 込）	92.9%	(92.5%)	(82.0%)	(100.0%)		
	終期設定	有（ ） ・ 無（ ）					
改善基準							
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地（R7：22市7町）で開催しており、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。 また、アンケート実施により、ニーズの把握や、結果のフィードバックによる演目の充実等につなげている。		学校における保護者負担が生じる事業の縮小や、少子化により学校単位の生徒数が縮小傾向にあることなどの影響により、公演申込数や鑑賞者数は目標を下回っているが、県民芸術劇場を鑑賞した児童・生徒からは高い評価を得ており、優れた舞台芸術に触れる機会の創出に寄与していると考えられる。今後も事業ニーズを踏まえ、新規登録団体の確保等により公演の魅力向上を図り、目標達成につなげたい。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		（公財）兵庫県芸術文化協会が中心となり事業を実施することで、同協会が有する文化施設・文化団体とのネットワークを活かした効率的な事業実施ができている。 また、一般公演は有料（入場料の上限あり）としており、受益者負担も適正に行っている。				
課題・今後の方向性	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他						
	説明 （公財）芸術文化協会と連携しながら事業内容の充実を図り、より魅力ある公演の実施を通じて、県民の芸術鑑賞機会の確保に努めていく。						

事務事業評価調書

事業名	芸術文化センター創造・公演事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	企画運営班	
					連絡先	078-362-3146	
開始年度	平成17年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業						
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹として、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供する。						
事業概要	自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹として、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供するため、(公財)兵庫県芸術文化協会への補助を行う。						
これまでの改善状況	外部委員で組織する芸術文化センター運営委員会を開催し、センターの運営についての諸事項を審議している。(新型コロナウイルスの影響によりR3～R5までは開催を見合わせ) 令和7年度に芸術文化センターのあり方検討会を実施。						
業務フロー	申請(協会)→受付・審査(県)→交付(県)						

事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		378,000 千円		375,000 千円		425,000 千円		375,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	378,000 千円		375,000 千円		425,000 千円		375,000 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定:芸術文化センター事業基金繰入金、宝くじ発行益収入)	(378,000千円)		(375,000千円)		(425,000千円)		(375,000千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		378,000 千円		375,000 千円		425,000 千円		375,000 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	12.0人	従事人員	12.0人	従事人員	12.0人	従事人員	12.0人
			99,000 千円		103,428 千円		106,608 千円		113,256 千円	
	職員給与費 a		85,872 千円		88,668 千円		91,836 千円		98,496 千円	
賞与引当金繰入額 b		7,128 千円		7,488 千円		7,908 千円		7,488 千円		
退職手当引当金繰入額 c		6,000 千円		7,272 千円		6,864 千円		7,272 千円		
総コスト (①+③)		477,000 千円		478,428 千円		531,608 千円		488,256 千円		

指標名		区 分	5年度 実績	6年度 実績	7年度 実績	8年度 目標	最終目標 【年度】
評	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
	芸術文化センター自主公演入館者数	実 績（見 込）	311,210	322,907	317,122	(300,000)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(2 千円)	(1 千円)	(2 千円)	(2 千円)	
		達 成 率（見 込）	103.7%	107.6%	105.7%	(100.0%)	
価	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	40	40	40	40	50
	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	実 績（見 込）	37.6	39.2	38.3	40.0	【R7年度】
		（単位当たりコスト）	(12,686 千円)	(12,205 千円)	(13,880 千円)	(12,206 千円)	
		達 成 率（見 込）	94.0%	98.0%	95.8%	(100.0%)	
指	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
標	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	200	200	200	200	200
	年間ホール稼働日数	実 績（見 込）	339	342	308	(330)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(1,407 千円)	(1,399 千円)	(1,726 千円)	(1,480 千円)	
		達 成 率（見 込）	169.5%	171.0%	154.0%	(165.0%)	
標	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
標	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
終期設定		有（ ） ・ 無					
改善基準		あり方検討会の結果等を踏まえて検討					
自	評価の視点		評価			目標に対する達成状況（総合的評価）	
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ 利用者アンケートを踏まえて魅力ある公演づくりに取り組んでいる。 ・ R2・3は新型コロナウイルスの影響で事業の中止・延期を余儀なくされたが、予防対策を講じて公演を実施したほかやオンライン配信を行うなど県民のニーズに応えて事業を実施した。 ・ コロナ禍においても自主事業の実施や感染症予防対策により施設の稼働率は高かった。 ・ 本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しており、文化芸術振興の拠点となっている。 ・ 幅広い県民に公演を提供するという目的に対し、指標・目標設定は適切である。			施設の稼働日数は目標に達しており、施設利用者アンケートにおいても公演満足度は98%と県民から高い支持・共感を得ている。 ・ 令和8年3月に公演入場者数が950万人に達するなど、県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するために必要な事業である。	
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ チケット料金については事業目的や内容、券売率等の収支見込みを踏まえて適切に設定されている。 ・ R8年度よりネーミングライツ収入を11,000千円引き上げ、センター事業基金積立の財源としている。 ・ 国等各種助成金を活用して事業を実施している。				
	課題・今後の方向性						
評	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他						
	説明 ・引き続き、多彩な舞台芸術を創造・発信し、幅広いニーズに応える上演を行うとともに、舞台芸術の普及や県民創造活動の支援を行っていく。 ・特に、若い観客を増やしていくために、ターゲット層のニーズに応じた魅力ある公演の実施やSNSの活用等を図っていく。						
価							

事務事業評価調書

事業名	兵庫陶芸美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部					
					所管課	芸術文化課					
					担当班	企画運営班					
					連絡先	078-362-3146					
開始年度	平成17年度	終了年度	—		関連計画等	—					
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業										
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等	展覧会実行委員会					
事業目的	陶芸をテーマとした展覧会を開催し、作品鑑賞を通して県民の豊かな感性を育むと共に、古くから盛んであった兵庫県のやきものの伝統と文化、そして貴重な技術を次世代に伝えることを目的とする。										
事業概要	立杭地域に集客が多い春季および秋季は、当館だけでは開催が困難な国内外の著名な陶磁器を紹介する巡回展や、学芸員の専門分野を活かした特別展を開催し、比較的集客が少ない夏季および冬季は、当館の収蔵品を中心とした特色ある展覧会を開催する。 常設展「丹波焼の世界」では、年1回の展示替えを行い、800年以上の歴史を誇る丹波焼の魅力を発信する。										
これまでの改善状況	陶芸（特に古陶磁）は根強いファンがいる一方、広がりには欠けるほか、年齢層にも偏りが見られるため、陶芸の枠を越えた企画（フィンランド・デザイン展、ガラス工芸など）や幅広い展覧会を開催。展覧会毎に出品料や集客見込等を考慮し、適正な観覧料を設定。										
業務フロー	企画・立案（県）→実行委員会に委託・交付（県）→実績報告（事業者）→実績確認・精算（県）										
事業に要するコスト	区 分		5 年度決算額		6 年度決算額		7 年度決算額		8 年度当初予算額		
	事業費①		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		委託料	85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		（特定：兵庫陶芸美術館展覧会配分金、宝くじ発行益収入）	(52,200千円)		(52,200千円)		(52,200千円)		(60,000千円)		
		（起債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		（一般財源）	(32,800千円)		(32,800千円)		(32,800千円)		(25,000千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		
	執行率（（①/②）×100）		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		
	人件費③（a+b+c）		従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	
			70,950 千円		74,123 千円		76,402 千円		81,167 千円		
			職員給与費 a	61,542 千円		63,545 千円		65,816 千円		70,589 千円	
			賞与引当金繰入額 b	5,108 千円		5,366 千円		5,667 千円		5,366 千円	
		退職手当引当金繰入額 c	4,300 千円		5,212 千円		4,919 千円		5,212 千円		
		総コスト（①+③）	155,950 千円		159,123 千円		161,402 千円		166,167 千円		

事務事業評価調書

指標名		区 分	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度目標	最終目標【年度】
評	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	施設内入場者数	実績（見込）	82,517	66,457	55,809	(100,000)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(3千円)	(2千円)	
		達成率（見込）	82.5%	66.5%	55.8%	(100.0%)	
価	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	60	60	60	60	60
	出前事業、展覧会鑑賞学習等の実施校数	実績（見込）	41	40	34	(60)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(3,804千円)	(3,978千円)	(4,747千円)	(2,769千円)	
		達成率（見込）	68.3%	66.7%	56.7%	(100.0%)	
指	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		令和7年度は開館20周年記念特別展として「東山焼と姫路のやきもの」、「博覧会の時代-HYOGO発、明治の輸出陶磁」、「MINGEI ALIVE-いま、生きている民藝」など、万博イヤーに合わせて兵庫の多彩な陶芸文化を紹介する特色ある展覧会を開催したが、大きなヒットには至らず、集客には苦戦した。なお、アンケートについてはいずれも高い評価を得た。		来館者数は各年度の展覧会の内容により左右されるが、令和7年度は海外の陶磁器展など人気のある巡回展を実施することができなかったため、目標値の56%にとどまった。 展覧会経費については、冬の特別展「丹波焼の美-田中寛コレクションを中心に」では当館のコレクションを全面活用するなどコスト削減に努め、また文化庁補助金など外部資金も積極的に活用し財源確保に努めた。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		展覧会経費は、展示構成費や運送費等人件費が高騰する中でも、仕様や発注時期を見直してコスト削減を図るとともに、文化庁補助金等の外部資金を活用し財源確保にも努めた。さらに、展覧会の知名度を高めるため、関連イベントの実施やSNS等新しい広報媒体を使った情報発信などを行った。				
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☒ その他						
評	説明 展覧会赤字の削減 ①展覧会経費の削減 ・ さらなる外部資金の確保 ・ 印刷物作成（ポスター、チラシ、チケット図録等）の一括契約の検討 ・ 収蔵品のさらなる活用 ②観覧料収入確保 ・ 効果的な広報戦略の検討、実施						
価							

事務事業評価調書

事業名	横尾忠則現代美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	企画運営班	
					連絡先	078-362-3146	
開始年度	平成24年度	終了年度	—		関連計画等		
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業						
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	横尾忠則氏の絵画を中心に、幅広く現代の表現に特化した展覧会を開催することを通して、世界的アーティストとの出会いを体験できる場を創出する。						
事業概要	兵庫県出身で世界的にも高く評価されている作家・横尾忠則氏の作品を鑑賞する機会を提供し、その魅力を広く発信するため、(公財)兵庫県芸術文化協会に展覧会開催経費を補助する。						
これまでの改善状況	横尾氏の作品を主とした展覧会が続くため、来館者の層が固定化してしまう面もあるが、展示・演出に工夫を凝らし魅力ある展覧会の企画に努めている。 SNS発信や動画作成、感染症対策を講じたイベント開催など、コロナ禍で落ち込んだ入館者数の回復に向けた積極的な取組を行い、展覧会入場者数は、令和4年度は歴代2位、翌5年度は歴代3位、6年度は歴代4位となるなど好調である。						
業務フロー	計画・申請(事業者)→受付・交付(県)→実施・実績報告(事業者)→交付額確定(県)						

区 分		5年度決算額	6年度決算額	7年度決算額	8年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	24,000 千円	24,000 千円	24,000 千円	24,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	24,000 千円	24,000 千円	24,000 千円	24,000 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定：宝くじ社会貢献広報事業費)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		24,000 千円	24,000 千円	24,000 千円	24,000 千円
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	6.1人	6.1人	6.1人	6.1人
			50,325 千円	52,576 千円	54,192 千円	57,572 千円
		職員給与費 a	43,652 千円	45,073 千円	46,683 千円	50,069 千円
賞与引当金繰入額 b		3,623 千円	3,806 千円	4,020 千円	3,806 千円	
退職手当引当金繰入額 c		3,050 千円	3,697 千円	3,489 千円	3,697 千円	
総コスト (①+③)		74,325 千円	76,576 千円	78,192 千円	81,572 千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区 分	5年度 実績	6年度 実績	7年度 実績	8年度 目標	最終目標 【年度】	
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
評価	横尾忠則現代美術館入館者数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業 KPI）	実 績（見 込）	58,718	51,573	48,600	(70,000)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	(1 千円)	(2 千円)	(2 千円)	(1 千円)		
		達 成 率（見 込）	83.9%	73.7%	69.4%	(100.0%)		
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	展覧会関連事業参加者数	実 績（見 込）	689	932	867	(1,500)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	(111 千円)	(84 千円)	(94 千円)	(54 千円)		
		達 成 率（見 込）	45.9%	62.1%	57.8%	(100.0%)		
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
	評価		実 績（見 込）	—	—	—	—	
			（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
			達 成 率（見 込）	—	—	—	—	
			活動指標（アウトプット指標①）	目 標	3	3	3	3
展覧会実施回数		実 績（見 込）	3	3	3	(3)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	(24,775 千円)	(25,525 千円)	(26,064 千円)	(27,191 千円)		
		達 成 率（見 込）	100.0%	100.0%	100.0%	(100.0%)		
		活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
	実 績（見 込）	—	—	—	—			
	（単位当たりコスト）	—	—	—	—			
	達 成 率（見 込）	—	—	—	—			
	終期設定	有（ ） ・ （無）						
改善基準								
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ 横尾忠則現代美術館の展覧会入場者数は、堅調に推移しており、現代美術の普及とまちの賑わいづくりに寄与している。 ・ 利用者ニーズの把握のために実施しているアンケート（紙、Web）で、利用者の満足度は高く、今後も展覧会の企画や広報に工夫していきたい。		・ 横尾氏の作品に限定される制約はあるが、展示の見せ方を工夫するとともに、SNSを活用した広報に力を入れることにより、目標に達しなかったものの5万人程度の入館者数を確保している。 ・ 横尾忠則氏の作品を多数所蔵する唯一無二の美術館として、貴重な美術品や資料を適切に保存・展示し、県民に優れた作品の鑑賞機会を提供することができており、意義ある事業である。			
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 年3本の展覧会は、規模に応じて事業費を調整し、総事業費を低減する工夫を行っている。 ・ 積極的に外部資金の獲得に努めており、令和7年度は（一財）地域創造の助成金を確保することができた。					
	課題・今後の方向性 ☑ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 ・ 魅力的な展覧会の企画に加え、特に若い世代に向けたSNSを用いた発信やイベントを充実させることにより、入館者の増加を図る。							
評価								

事務事業評価調書

事業名	子ども伝統文化わくわく体験教室				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	芸術文化振興班				
					連絡先	078-362-3171				
開始年度	平成27年度	終了年度	令和7年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン					
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等					
事業目的	伝統文化団体が、小・中・高校・特別支援学校の授業において行う伝統文化の体験事業の実施を支援することによって、伝統文化の若年層への浸透を図る。									
事業概要	伝統文化団体（いけばな、茶道等）を対象に、小・中・高校・特別支援学校に講師を派遣し複数回の体験教室を行う際の経費の一部を補助する。									
これまでの改善状況	H28 分野追加（琴、日本舞踊、能・狂言）									
業務フロー	④体験教室実施 学校 県 文化団体 ①希望調査 ②実施決定 ②実施決定 ⑤補助 ③講師派遣									
事業に要するコスト	区 分		5 年度決算額		6 年度決算額		7 年度決算額		8 年度当初予算額	
	事業費①		7,545 千円		7,942 千円		8,234 千円		0 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	7,545 千円		7,942 千円		8,234 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定:芸術文化振興基金繰入金、宝くじ発行益収入)	(7,545千円)		(7,942千円)		(8,234千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		8,400 千円		8,400 千円		8,400 千円		0 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		89.8%		94.5%		98.0%		0.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.0人
			2,475 千円		2,586 千円		2,665 千円		0 千円	
	職員給与費 a		2,147 千円		2,217 千円		2,296 千円		0 千円	
賞与引当金繰入額 b		178 千円		187 千円		198 千円		0 千円		
退職手当引当金繰入額 c		150 千円		182 千円		172 千円		0 千円		
総コスト (①+③)		10,020 千円		10,528 千円		10,899 千円		0 千円		

事務事業評価調書

	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①） 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	目 標	40	40	40	—	50%	
		実 績（見 込）	37.6	39.2	38.3	—	【R7年度】	
		（単位当たりコスト）	（266 千円）	（269 千円）	（285 千円）	—		
		達 成 率（見 込）	94.0%	98%	（95.8%）	—		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	指標	活動指標（アウトプット指標①） 体験教室実施校数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業 KPI））	目 標	70	70	65	—	80
			実 績（見 込）	64	66	67	—	【R7年度】
			（単位当たりコスト）	（157 千円）	（160 千円）	（163 千円）	—	
			達 成 率（見 込）	91.4%	94.3%	103.1%	—	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
終期設定		有（令和7年度）						無
改善基準								
自己評価		評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		令和7年度においても募集件数を大幅に上回る応募があり、応募倍率は約1.9倍となるなど、本事業に対する学校現場のニーズは高い。また、事業実施後の学校アンケート（令和7年度）では、回答した全ての教員が「引き続き実施したい」と回答しており、事業に対する満足度も高いことがうかがえる。		学校では伝統文化を指導するための資材（琴）や人材（指導者）が乏しく、本事業が児童・生徒にとって伝統文化を実際に体験しながら学ぶ貴重な機会となっており、学校からの需要・評価ともに高い。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		各学校への周知は教育委員会を通じて行うなど、関係機関の協力を得て効率的な事業実施ができています。					
課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他								
評価	説明	これまで伝統文化分野に限定して実施してきたが、今後は対象を芸術文化全般へ拡充することで、子どもたちに多様な芸術文化と直接触れ合う機会を提供し、芸術文化のリアルな体験機会の充実を図る。						

事務事業評価調書

事業名	地域で親しむ舞台芸術応援事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	芸術文化振興班				
					連絡先	078-362-3171				
開始年度	令和7年度	終了年度	-		関連計画等	芸術文化振興ビジョン				
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	(公財) 兵庫県 芸術文化協会				
事業目的	県民がより満足度の高い良質な公演を鑑賞できるようにするとともに、普段舞台芸術に接することが少ない人へ鑑賞機会を提供する。									
事業概要	文化ホール等の設置者、公演を主催する実行委員会を対象に、県内アーティストが出演する有料公演にかかる経費の一部を補助する。									
これまでの改善状況	-									
業務フロー	事業者 申請 県 補助 芸術文化協会 審査 交付決定									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		-		-		13,922 千円		17,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		0 千円		0 千円	
		委託料	-		-		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	-		-		13,922 千円		17,000 千円	
		貸付金	-		-		0 千円		0 千円	
		その他	-		-		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	-		-		(0千円)		(0千円)	
		(特定:芸術文化振興基金繰入金、宝くじ発行益収入)	-		-		(13,922千円)		(17,000千円)	
		(起債)	-		-		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	-		-		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		-		-		17,000 千円		17,000 千円	
	執行率 ((①/②) ×100)		-		-		81.9%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			-		-		862 千円		944 千円	
			職員給与費 a	-	-	-	739 千円	821 千円		
			賞与引当金繰入額 b	-	-	-	62 千円	62 千円		
		退職手当引当金繰入額 c	-	-	-	61 千円	61 千円			
総コスト (①+③)						14,784 千円		17,944 千円		

	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
評	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	—	—	40	40	50
	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	実 績（見 込）	—	—	38.3	(40)	【R12年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	(386 千円)	(449 千円)	
		達 成 率（見 込）	—	—	96%	(100.0%)	
価	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	11,700	11,700	11,700
	鑑賞者数	実 績（見 込）	—	—	13,957	(11,700)	【R9年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	(1 千円)	(2 千円)	
		達 成 率（見 込）	—	—	119%	(100.0%)	
指	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—	
指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	—	—	35	35	35
	公演実施数	実 績（見 込）	—	—	44	(35)	【R9年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	(336 千円)	(513 千円)	
		達 成 率（見 込）	—	—	(125.7%)	(100.0%)	
指	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—	
指	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—	
標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自 己 評 価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているかなど		クラシック音楽や伝統芸能、演劇など幅広いジャンルを支援しており、県民が地域で気軽に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供できている。		鑑賞者数、公演実施数ともに目標を上回っており、重点的な支援により地域で舞台芸術を鑑賞する機会の充実が図られている。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているかなど		必要書類のダウンロードや申請書のメール提出など、手続きのオンライン化による業務改善に取り組んでいる。また、市町ホール利用率等を踏まえた重点的な支援を行うことで、限られた財源の効果的な活用に努めている。				
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明（公財）芸術文化協会と連携しながら事業の周知浸透を図り、より多くの市町ホールに事業の利活用を促していく。						

事務事業評価調書

事業名	ひょうごプレミアム芸術デーの開催				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	企画運営班				
					連絡先	078-362-3146				
開始年度	令和4年度	終了年度	—		関連計画等	芸術文化振興ビジョン				
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☒ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()					実施主体等	県・(公財)兵庫県芸術文化協会			
事業目的	県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会を提供し、兵庫の魅力の再発見やふるさと意識に根ざした兵庫の文化の継承・発展を図り、芸術文化立県ひょうごの実現を目指す。									
事業概要	芸術文化施設の無料開放、無料イベント、障害のある方や子育て世帯にも配慮した取組の実施									
これまでの改善状況	R4年度は県立9施設のみで実施したが、R5年度からは新たに趣旨に賛同する市町立施設・民間施設に対象を拡充するとともに、障害のある方や子育て中の方が鑑賞しやすい環境づくりやナイトミュージアムなど子供の体験機会の創出に取り組んでいる。 また、参加者数や来館者アンケートの結果を参加施設などに提供している。									
業務フロー	①参加施設の募集 ②事業の広報 ③各施設で無料開放や無料イベントを実施、県立施設でアンケートを実施 ④アンケート結果などを参加施設へ提供									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		11,087 千円		11,445 千円		9,591 千円		9,888 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	7,544 千円		7,841 千円		7,193 千円		7,535 千円	
		補助金・交付金	1,488 千円		1,124 千円		0 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	2,055 千円		2,480 千円		2,398 千円		2,353 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)(芸術文化振興基金、ふるさとひょうご寄附金)	(8,495千円)		(9,910千円)		(9,591千円)		(9,888千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(2,592千円)		(1,535千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		8,495 千円		9,910 千円		9,591 千円		9,888 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		130.5%		115.5%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			8,250 千円		8,619 千円		8,884 千円		9,438 千円	
	職員給与費 a		7,156 千円		7,389 千円		7,653 千円		8,208 千円	
	賞与引当金繰入額 b		594 千円		624 千円		659 千円		624 千円	
	退職手当引当金繰入額 c		500 千円		606 千円		572 千円		606 千円	
総コスト (①+③)		19,337 千円		20,064 千円		18,475 千円		19,326 千円		

評価	指標名	区分	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度目標	最終目標【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①） 住んでる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合（R4～暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合）	目標	50%	50%	50%	50%	50%	
		実績（見込）	37.6%	39.2%	38.3%	(50.0%)	【R7年度】	
		（単位当たりコスト）	(29,487千円)	(29,196千円)	(25,042千円)	(19,776千円)		
		達成率（見込）	75.2%	78.4%	76.6%	(100.0%)		
	成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	指標	活動指標（アウトプット指標①） 各施設入館者数（芸術文化センター、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館、尼崎青少年創造劇場）	目標	603,000	603,000	603,000	603,000	603,000
			実績（見込）	551,061	553,799	528,441	(603,000)	【R7年度】
			（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
			達成率（見込）	91.4%	91.8%	87.6%	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目標	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
終期設定		有（ ） ・ 無（ ）						
改善基準		ひょうごビジョン2050で設定している指標（暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合）が40%を達成した時に見直し実施						
自己評価		評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	ア 参加施設の増加 令和5年度89施設→令和6年度103施設→令和7・8年度114施設 イ 観覧者数の増加 令和6年度で前週比約2.3倍、令和7年度で前週比約2.2倍の方が観覧 ウ 施設への来館のきっかけ 県立施設で行ったアンケートによると、約42%が「施設への来館が初めて」と回答。 エ 誰もが芸術文化に親しむための取組 一時保育や手話通訳付き解説会などにより、障害のある方や子育て中の方が鑑賞しやすい環境づくりに取り組み ・ 各施設において、施設における専門人材を活用しながら事業を実施している。 ・ ふるさと寄附による財源確保を、令和5年度より新たに開始している。		施設入館者数は目標を未達であったが、プレミアム芸術デーに参加された方からは「引き続き実施して欲しい」という意見が多く、県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会となっている。県民が芸術文化に触れる機会が増加することにより、兵庫の魅力の再発見や、若者への兵庫の文化の継承・発展にも繋がっている。			
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など							
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 { 一定の成果はあげているものの、参加施設数なども頭打ちが見えてきている。県の芸術文化を発信・浸透させていくための新たな展開として「プレミアム芸術デーでの来館者に再訪を促す取組（期間外の広報など）」が出来ないか検討したい }							
評価								

事務事業評価調書

事業名	アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	芸術文化振興班				
					連絡先	078-362-3171				
開始年度	令和6年度	終了年度	-	関連計画等	芸術文化振興ビジョン					
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☒ 直執行 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()					実施主体等				
事業目的	Z世代をはじめとする若者の芸術文化活動を支援するため、若者の芸術文化活動の発表の場を新たに創出するとともに、部活動の地域移行も見据えつつ、多様な分野で専門指導者による指導を行い、本県の優れた芸術文化を継承・発展につなげる。									
事業概要	(1) 文化系Z世代の発表の場の創出 「高校生文化部フェス」(文化部高校生によるステージ発表・ブース展示)を開催 (2) 文化部合同練習会への支援 複数の高校が共同で実施する文化部合同練習会等に、各分野の専門指導者を講師として派遣									
これまでの改善状況	当初は民間事業者への一括委託を予定していたが、合同練習会事業は、芸術文化団体の協力により高度なレッスンが効果的に実施できるよう、芸術文化団体への補助とし、主体性・専門性をもって多様な分野の団体が質の高い事業を実施できるようにした。R8からさらに分野を拡大するため、直執行を追加。									
業務フロー	(1) 民間事業者に委託し、事業を実施 (2) 芸術文化団体への補助又は直執行により、事業を実施									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		0 千円		7,340 千円		8,029 千円		8,853 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		386 千円	
		委託料	0 千円		6,214 千円		6,247 千円		6,693 千円	
		補助金・交付金	0 千円		1,126 千円		1,782 千円		1,620 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		154 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)(芸術文化振興基金、ふるさとひょうご寄附金)	(0千円)		(7,340千円)		(8,029千円)		(8,843千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0 千円		8,377 千円		8,418 千円		8,843 千円	
	執行率((①/②)×100)		0.0%		87.6%		95.4%		100.1%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人
			0 千円		5,171 千円		5,330 千円		5,663 千円	
	職員給与費 a		0 千円		4,433 千円		4,592 千円		4,925 千円	
	賞与引当金繰入額 b		0 千円		374 千円		395 千円		374 千円	
退職手当引当金繰入額 c		0 千円		364 千円		343 千円		364 千円		
総コスト(①+③)		0 千円		12,511 千円		13,359 千円		14,516 千円		

事務事業評価調書

指標名		区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①） 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	目 標	—	40%	40%	50%	50%	
		実 績（見 込）	—	39.2%	38.3%	(45.0%)	【R12年度】	
		（単位当たりコスト）	—	(31,917 千円)	(34,881 千円)	(32,257 千円)		
		達 成 率（見 込）	—	98.0%	(95.8%)	(90.0%)		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	指標	活動指標（アウトプット指標①） 発表会の出演団体数	目 標	—	30	30	40	40
			実 績（見 込）	—	24	20	(35)	【R8年度】
			（単位当たりコスト）	—	(521 千円)	(668 千円)	(415 千円)	
			達 成 率（見 込）	—	80.0%	(66.7%)	(87.5%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
終期設定	有（ ） ・ 無							
改善基準								
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ 若者の芸術文化活動の発表の場を新たに創出 「高校生文化部フェス」R8.1.31 神戸ハーバーランドスペースシアター 17分野20校参加、来場者約3,500人 ・ 合同練習会事業によりスキルアップや相互交流の場を提供 9分野で合同練習会7回、単独練習会32回開催、参加者941人		発表の場については、イベント開始時間の都合等により出演校数が20校となり、前年度実績及び目標値を下回った。一方で、来場者は約3,500人となり前年度を上回るとともに、参加校や来場者からは継続実施を望む声が寄せられるなど評価は高かった。今後はより参加しやすい開催時間や運営方法を検討し、出演校数の確保に努める。 合同練習会については、実施分野の拡大により参加者数が増加している。			
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 公募型プロポーザルを実施し、民間のノウハウを生かした展示会・発表会の開催や、SNS等を活用した広報を実施することにより、効率的・効果的に事業を推進。 ・ 合同練習会事業は芸術文化団体への補助とし、多様な分野の団体が主体性・専門性をもって質の高い事業を実施。					
評価	課題・今後の方向性							
	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 { 発表の場、合同練習会ともに参加分野や実施地域を拡大しながら、今後も引き続き若者の芸術文化活動支援に努める。 }							

事務事業評価調書

事業名	兵庫ひきこもり相談支援センターの運営					部(局)	県民生活部			
						所管課	男女青少年課			
						担当班	青少年育成班			
						連絡先	078-362-3143			
開始年度	平成26年度	終了年度	-		関連計画等					
事業区分	☒ 国補助事業 ☐ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()					実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部、NPO等			
事業目的	ひきこもり対策を推進するための体制を整備するため、第一次相談窓口としての役割を担う「センター」を設置し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図る。									
事業概要	・保健・医療、福祉、教育、雇用等34機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、青少年を中心とするひきこもり当事者や家族への支援に努めている。 ・青少年のための総合相談として電話相談、来所相談、訪問支援を実施している。									
これまでの改善状況	R4：市町単位で相談窓口が設置されるようになったことを受け、事業の効率化を図るため、ほっとらいん相談実施日を週5から週3に変更 R6：学校との連携強化のため、青少年悩み対策カウンセラーを地域ランチ5箇所に各1名配置									
業務フロー	・保健・医療、福祉、教育、雇用等34機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、兵庫県青少年本部を中心に運営。 ・電話相談は、（公財）兵庫県青少年本部、面接相談や訪問支援は、NPO等民間支援団体の協力を得て、県内5地域で展開。									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		11,050 千円		24,174 千円		25,359 千円		29,097 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	11,050 千円		24,174 千円		25,359 千円		29,097 千円	
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(5,525千円)		(9,897千円)		(7,750千円)		(10,619千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(5,525千円)		(14,277千円)		(20,027千円)		(18,478千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		11,497 千円		27,067 千円		27,777 千円		29,097 千円	
	執行率（(①/②)×100）		96.1%		89.3%		91.3%		100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			8,250 千円		8,619 千円		8,884 千円		9,438 千円	
	職員給与費 a		7,156 千円		7,389 千円		7,653 千円		8,208 千円	
	賞与引当金繰入額 b		594 千円		624 千円		659 千円		624 千円	
退職手当引当金繰入額 c		500 千円		606 千円		572 千円		606 千円		
総コスト（①+③）		19,300 千円		32,793 千円		34,243 千円		38,535 千円		

事務事業評価調書

評	指標名	区 分	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度目標	最終目標【年度】
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	72	72	72	72	72件
価	電話相談の新規件数	実 績（ 見 込 ）	59	48	37	(72)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(556 千円)	(713 千円)	(925 千円)	(551 千円)	
		達 成 率（ 見 込 ）	81.9%	66.7%	51.4%	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—
		実 績（ 見 込 ）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達 成 率（ 見 込 ）	—	—	—	—	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—
		実 績（ 見 込 ）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達 成 率（ 見 込 ）	—	—	—	—	
		指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	750	750	750
ほっとらいん相談件数	実 績（ 見 込 ）		609	702	687	(750)	【各年度】
	(単位当たりコスト)		(54 千円)	(49 千円)	(50 千円)	(53 千円)	
	達 成 率（ 見 込 ）		81.2%	93.6%	91.6%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）		目 標	1,500	1,500	1,500	1,500
来所相談件数	実 績（ 見 込 ）		3,739	4,913	5,265	(1,500)	【各年度】
	(単位当たりコスト)		(9 千円)	(7 千円)	(7 千円)	(26 千円)	
	達 成 率（ 見 込 ）		249.3%	327.5%	351.0%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—
	実 績（ 見 込 ）		—	—	—	—	—
	(単位当たりコスト)		—	—	—	—	
	[うち事業拡大部分]		—	—	—	—	
	達 成 率（ 見 込 ）	—	—	—	—	—	
終期設定	有（ ） ・ 無						
改善基準							
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ 不登校の数が増えている中、電話相談や来所・訪問相談の必要性も高まっているため、県が公的な相談機関を運営する意義は高く、引き続き事業の実施は必要である。第一次相談窓口として、ひきこもり当事者や家族への支援、県内の様々な支援窓口や居場所等の情報提供を行っているが、相談機関につながっていない要支援者にさらなる窓口の周知が必要である。		・ ほっとらいん相談については、相談件数が目標を達成できていないので、効果的な窓口の周知に努めることにより、特に新規相談者の利用を進める。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 民間活力を活用するため、NP0に相談業務を委託している。 ・ ひきこもり支援の特性上、コスト削減、受益者負担は難しいところがあるが、国庫活用で財源を確保し、ひきこもりサポーター育成など、支援者（ボランティア）の育成等に努めている。 ・ 市町単位で相談窓口が設置されるようになったことを受け、R4～ほっとらいん相談実施日を週5から週3にした。		・ 来所相談、訪問相談業務をNP0法人に委託することにより、地域の実情に応じた相談業務を実施することができた。 ・ 令和7年度のほっとらいん相談（687件）のうち、97.1%にあたる667件が他所へつなぐことなく当該相談のみで解決に至っており、高い割合でワンストップ相談とすることができた。		
	課題・今後の方向性 ☑ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 県内に推計約6.3万人の方がひきこもり状態にあるとされており、相談業務につながっていない潜在的なひきこもり者を相談窓口に誘導し支援につなげるため、広く一般にひきこもり相談について周知を図り、気軽に相談できる支援体制を構築していく。 R8は、R7に引き続き学校との連携を強化し、ひきこもり者への早期アプローチに努める。						
価							

事務事業評価調査

事業名	SDGs HYOGO 青年チャレンジ事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	男女青少年課				
					担当班	青少年育成班				
					連絡先	078-362-3143				
開始年度	令和5年度	終了年度	令和7年度	関連計画等	—					
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	兵庫県青少年本部				
事業目的	①SDGsの理念を基に課題解決に取り組む団体等と連携して、SDGsを切り口として、若者の今日的な課題に向けた関心や地域貢献への意識を高める ②青年団体やNPO等が参画し、相互理解を深め、様々な知識や経験を蓄積し、ネットワークを広げて新たな価値観を活動に取り入れていけるリーダーを育成する									
事業概要	SDGsに関する事業に取り組む青年主体の団体を公募し、これらの団体が地域住民、NPO法人、企業、行政等と連携して、事業実施する体制を支援 《運営団体》青少年団体・グループなど 《助成予定団体》10団体程度 《助成額》200千円(上限)／団体(定額補助)									
これまでの改善状況	R6：助成額を1団体あたり400千円(上限)から200千円(上限)に変更									
業務フロー	(公財) 兵庫県青少年本部への補助 (1) 兵庫県青少年本部による公募・補助 SDGsに関する課題に取り組む団体を公募→選定(兵庫県青少年本部等で構成する選定委員会)→助成 (2) チャレンジサポーターによる団体へのサポート 青少年団体と地域の既存団体等との交流機会の創設、その他SNSによる情報発信など									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		7,296 千円		5,600 千円		5,679 千円		0 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	7,296 千円		5,600 千円		5,679 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(7,296千円)		(5,600千円)		(5,679千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,135 千円		5,061 千円		5,061 千円		0 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		102.3%		110.7%		112.2%		—	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	
			1,650 千円		1,723 千円		1,777 千円		0 千円	
	職員給与費 a		1,431 千円		1,477 千円		1,531 千円		0 千円	
	賞与引当金繰入額 b		119 千円		125 千円		132 千円		0 千円	
退職手当引当金繰入額 c		100 千円		121 千円		114 千円		0 千円		
総コスト (①+③)		8,946 千円		7,323 千円		7,456 千円		0 千円		

事務事業評価調査

評	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	1,000	8,000	8,000	—	8,000
価	事業参画者数 （団体青年数+企画事業への参加者数）	実績（見込）	8,327	5,292	3,704	—	【各年度】
		（単位当たりコスト）	（1 千円）	（1 千円）	（2 千円）	—	
		達成率（見込）	832.7%	（66.2%）	（46.3%）	—	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	100	100	100	—
	若年層のリーダー育成数 （団体青年数）	実績（見込）	147	121	197	—	【各年度】
		（単位当たりコスト）	（50 千円）	（62 千円）	（38 千円）	—	
		達成率（見込）	147.0%	（121.0%）	（197.0%）	—	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	10	10	10	—
実績（見込）			9	9	12	—	【各年度】
（単位当たりコスト）			（814 千円）	（828 千円）	（621 千円）	—	
達成率（見込）			90.0%	（90.0%）	（120.0%）	—	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
標	終期設定	有 〇 令和 7 年度) ・ 無					
	改善基準	目標値の概ね 8 割程度の達成にとどまった場合、補助制度ほか実施体制の見直しを行う					
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		SDGsに関する課題に取り組む青年のグループが活動を通じて、地域の既存団体や地域住民との活動連携の機会を得つつ、相互理解を深め、様々な実践活動に取り組むことができていることから、県の次世代を担う青少年育成の取組として有効である。		補助団体数は昨年度より 3 団体増加した。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		地域団体や N P O、企業等と連携することで、効率的に実施できており、また、補助終了後も活動を継続できる体制となっている。		参加団体の青年数も大きく増え、リーダー育成数の目標を大きく上回り、事業として一定の効果が見受けられた。		
	課題・今後の方向性						
評	☐ 改善 ☐ 他事業と統合 ☒ その他						
	説明						
価	令和 7 年度で事業終了						

事務事業評価調書

事業名	子どもの冒険ひろばの推進				部(局)	県民生活部				
					所管課	男女青少年課				
					担当班	青少年育成班				
					連絡先	078-362-3143				
開始年度	平成15年度	終了年度	令和7年度	関連計画等						
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	兵庫県青少年本部				
事業目的	①運営団体の財政基盤が脆弱であることに加えて、地域の子育て支援機能の強化を図るため、市町との連携を推進し、協働で体験する機会を増やすなど、ひろばを通じて子どもたちの「ふるさと意識」の確立に取り組む。 ②課題を抱える青少年の居場所としての機能強化を図る。									
事業概要	地域ぐるみの子育てを推進するため、身近な地域の大人が見守る中、子どもたちが自由な発想でのびのびと遊ぶ「子どもの冒険ひろば」の運営を支援 ※令和7年度限りで事業終了 《運営団体》NPO、青少年団体・グループなど 《助成団体数》20団体程度 (R4:36団体 R5:32団体 R6:26団体 R7:26団体) 《助成額》200千円(上限)／団体(定額補助)									
これまでの改善状況	令和6年度に補助上限額を1団体あたり300千円から200千円に変更									
業務フロー	(公財) 兵庫県青少年本部への補助 (1) 兵庫県青少年本部による助成 子どもの冒険ひろば実施団体の公募→「子どもの冒険ひろば」補助事業実施団体審査会により選定→採択 (2) 子ども・若者ひろば相談員の設置 個々の運営団体に応じた相談対応、活動に対する指導・助言機能の充実・強化を図るとともに、全県ネットワークの形成に向けたひろば間の連絡・調整等を実施									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		11,624 千円		8,406 千円		3,841 千円		0 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	11,624 千円		8,406 千円		3,841 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(11,624千円)		(8,406千円)		(3,841千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		12,057 千円		8,038 千円		4,018 千円		0 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		96.4%		104.6%		95.6%		--	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.0人
			4,125 千円		4,310 千円		4,442 千円		0 千円	
職員給与費 a		3,578 千円		3,695 千円		3,826 千円		0 千円		
賞与引当金繰入額 b		297 千円		312 千円		330 千円		0 千円		
退職手当引当金繰入額 c		250 千円		303 千円		286 千円		0 千円		
総コスト (①+③)		15,749 千円		12,716 千円		8,283 千円		0 千円		

事務事業評価調査

	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	46,000	46,000	46,000	—	46,000	
		実 績（見 込）	30,706	25,955	23,685	—	【令和7年度】	
		（単位当たりコスト）	（1 千円）	（0 千円）	（0 千円）	—		
		達 成 率（見 込）	66.8%	56.4%	（51.5%）	—		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	指標	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	675	685	690	—	690箇所
			実 績（見 込）	682	694	695	—	【令和7年度】
			（単位当たりコスト）	（23 千円）	（18 千円）	（12 千円）	—	
			達 成 率（見 込）	101.0%	101.3%	100.7%	—	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
標		終期設定	有○ 令和7年度) ・ 無					
		改善基準						
自己評価		評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		大人の見守りがあることで、身近で自由に遊べる安全な環境が確保されている。同年代の子ども達との交流による協調性の向上や、自然や野外活動に興味を持つきっかけとなる等、子どもの健全な成長に有効的である。		開設箇所数については、目標どおりにおおむね増えており、冒険ひろばの定着とともに地域ぐるみの子育て機運の醸成や、子どもたちのふるさと意識の醸成に繋がっている。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 事業の目的、効果の維持を図るため、運営団体においては地域資源（企業、福祉、学校）と連携することで、経費のかからない運営の工夫を行うとともに、事業実施団体である兵庫県青少年本部でも運営の補助を行うスタッフの養成研修を行うなど、人材確保を進めることにより、効率運営に努めている。 ・ 県政改革方針に基づき、令和7年度での廃止が決定しているが、当該事業の意義やノウハウを継承するため、企業や地域と連携した新たな事業のあり方について、別途検討中。		利用者数については、R7年度での事業廃止に伴い、開催回数を減らすなど事業規模を段階的に縮小せざるを得ない団体もあったことから、昨年度を下回っている。			
	課題・今後の方向性							
評価	☐ 改善 ☐ 他事業と統合 ☒ その他							
	説明〔 令和7年度で事業終了。 〕							

事務事業評価調書

事業名	女性の就業サポート事業				部(局)	県民生活部
					所管課	男女青少年課
					担当班	男女共同参画班
					連絡先	078-362-3160
開始年度	平成24年度	終了年度	—	関連計画等	第5次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2030」	
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業					
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等	県
事業目的	出産や育児等による離職や就労不安などに悩む女性を対象に、再就業や起業を支援する。					
事業概要	県立男女共同参画センターの「女性就業相談室」において、女性の再就職や起業、在宅ワークなどへのチャレンジに関する個別相談、各種セミナーの開催、ハローワークと連携した職業紹介等の実施					
これまでの改善状況	H25.8～ 兵庫労働局との連携により、女性就業相談室内にハローワーク相談窓口を開設					
業務フロー	相談（県民） → 受付（県） → 職業紹介（県、ハローワーク）					

区 分		5 年度決算額	6 年度決算額	7 年度決算額	8 年度当初予算額
事業に要するコスト	事業費①	19,308 千円	26,617 千円	27,569 千円	29,688 千円
	経費内訳	報酬・賃金	8,831 千円	11,731 千円	15,116 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	10,477 千円	14,886 千円	14,599 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(19,308千円)	(26,617千円)	(29,688千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		19,148 千円	24,977 千円	26,770 千円
	執行率 ((①/②) × 100)		100.8%	100.8%	103.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,650 千円	1,723 千円	1,776 千円
		職員給与費 a	1,431 千円	1,477 千円	1,530 千円
		賞与引当金繰入額 b	119 千円	125 千円	125 千円
		退職手当引当金繰入額 c	100 千円	121 千円	121 千円
		総コスト (①+③)	20,958 千円	28,340 千円	29,345 千円
					31,575 千円

事務事業評価調書

評価	指標名	区 分	5年度 実績	6年度 実績	7年度 実績	8年度 目標	最終目標 【年度】	
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	200	200	200	200	200	
価	女性就業相談室の支援による就職者数	実 績（見 込）	264	213	173	(200)	【R8年度】	
		(単位当たりコスト)	(79 千円)	(133 千円)	(170 千円)	(158 千円)		
		達 成 率（見 込）	132.0%	106.5%	86.5%	(100.0%)		
		達 成 率（見 込）	132.0%	106.5%	86.5%	(100.0%)		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		女性就業相談室利用者数	実 績（見 込）	11,011	8,617	8,701	(11,000)	【R8年度】
(単位当たりコスト)			(2 千円)	(3 千円)	(3 千円)	(3 千円)		
達 成 率（見 込）			100.1%	78.3%	79.1%	(100.0%)		
達 成 率（見 込）			100.1%	78.3%	79.1%	(100.0%)		
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
標		終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準							
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		女性就業支援員・保育支援員の配置やベビーカーを横に求人検索や職業相談が受けられる広いスペースにキッズコーナーが隣接、授乳室や絵本コーナーもあり、子育て中の女性が利用しやすい環境が整備されている。		女性就業相談室内において、相談・情報提供から各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで支援する窓口として機能しており、通常は子ども連れではハローワークへ来所しづらい女性からも、安心して利用できること好評を得ている。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		女性就業相談室に女性就業支援員・保育支援員の配置に加え、ハローワーク相談窓口を併設し、相談・情報提供から、各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで切れ目のない効率的な事業実施が実現できている。		女性就業相談室の支援による就職者数は、神戸公共職業安定所全体の就職者数減傾向により減少しており、今後、労働局との一体的事業運営協議会の中で対応を検討する。			
	課題・今後の方向性							
評	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他							
	説明							
価	女性の就業は進んでいるが、女性全体の有業率で見ると50.2%（全国39位）と未だ低水準にとどまっている。（R4就業構造基本調査）「就業を希望しながら働いていない女性」の「働きたい」との希望を実現する支援として、引き続き重点的に取組む必要がある。							

事務事業評価調書

事業名	ひょうご女性の活躍推進事業				部(局)	県民生活部					
					所管課	男女青少年課					
					担当班	男女共同参画班					
					連絡先	078-362-3160					
開始年度	平成27年度	終了年度	—		関連計画等	第5次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2030」					
事業区分	☒ 国補助事業 ☐ 県単独事業										
実施方法	☒ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等						
事業目的	県における「女性の活躍」を一層促進するため、社会全体の気運の醸成を図るとともに、職場における意識改革や女性の登用促進、働きやすい職場環境整備等の企業の取組を推進する。また、女性がその希望に応じて仕事と家庭とを両立でき、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現と女性の兵庫への定着を目指す。										
事業概要	県立男女共同参画センター内に設置した女性活躍推進センター（H28.6～）を中心に、企業の自主的取組の促進やキャリアアップを目指す女性の支援、次世代を担う女子学生への啓発等を行う。また、令和4年度からは「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」を創設し、企業が自己診断により、現状を数値化・見える化し、一定基準に達した企業を認定することで、企業の女性活躍推進に向けた取組を後押しする。										
これまでの改善状況	H28.6 県立男女共同参画センター内に女性活躍推進センターを設置し、同センターには女性活躍推進専門員を配置 R1 女性の活躍企業育成プロジェクトの実施 R4 「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」の創設、 企業的女性社員向け階層別研修会の開始 R6 「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」に新たな認定区分を導入、 女子学生とミモザ企業のマッチング促進事業の開始										
業務フロー	・ 企業の取組支援、セミナーや研修の実施：女性活躍推進センター （専門員による企業訪問 → 個別相談 → セミナー企画 → 専門講師の派遣 → セミナー実施） ・ ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度：県直執行 ・ 女子学生とミモザ企業のマッチング促進事業：委託										
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額		
	事業費①		25,892 千円		32,967 千円		37,280 千円		40,163 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	10,667 千円		18,529 千円		23,448 千円		24,607 千円		
		委託料	571 千円		3,643 千円		3,650 千円		4,131 千円		
		補助金・交付金	345 千円		368 千円		375 千円		1,000 千円		
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		その他	14,309 千円		10,427 千円		9,807 千円		10,425 千円		
	(財源内訳)	(国庫)	(5,899千円)		(7,200千円)		(8,000千円)		(8,000千円)		
		(特定)	(345千円)		(368千円)		(940千円)		(1,566千円)		
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		(一般財源)	(19,648千円)		(25,399千円)		(28,905千円)		(30,597千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		25,892 千円		37,088 千円		37,991 千円		40,163 千円		
	執行率（(①/②）×100）		100.0%		88.9%		98.1%		100.0%		
	人件費③（a+b+c）		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
			2,475 千円		2,586 千円		2,665 千円		2,831 千円		
			職員給与費 a	2,147 千円		2,217 千円		2,295 千円		2,462 千円	
			賞与引当金繰入額 b	178 千円		187 千円		198 千円		187 千円	
		退職手当引当金繰入額 c	150 千円		182 千円		172 千円		182 千円		
総コスト（①+③）		28,367 千円		35,553 千円		39,945 千円		42,994 千円			

事務事業評価調書

評価	指標名	区 分	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度目標	最終目標【年度】
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	20	20	25	25	25
評価	民間における女性管理職比率 （ひょうご男女いきいきプラン2025（R3～R7）） ※直近値：19.1%（R4）	実 績（見 込）	19	(25)	(25)	(25)	【令和12年度】
		（単位当たりコスト）	(1,356 千円)	(1,356 千円)	(1,598 千円)	(1,720 千円)	
		達 成 率（見 込）	95.5%	95.5%	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	50	25	25	25
	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業 （ミモザ企業）認定数（R4～）	実 績（見 込）	69	59	46	(25)	【単年度】
		（単位当たりコスト）	(375 千円)	(375 千円)	(868 千円)	(1,720 千円)	
		達 成 率（見 込）	233.3%	138.0%	(184.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	50	50	50
	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業 （フレッシュミモザ企業）認定数（R6～）	実 績（見 込）	—	85	95	(50)	【単年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	(420 千円)	(860 千円)	
		達 成 率（見 込）	—	—	(190.0%)	(100.0%)	
		活動指標（アウトプット指標①）	目 標	90	90	90	90
指標	中小企業等の階層別女性社員研修会 参加者数（R4～）	実 績（見 込）	89	99	105	(90)	【単年度】
		（単位当たりコスト）	(146 千円)	(146 千円)	(380 千円)	(478 千円)	
		達 成 率（見 込）	173.3%	196.7%	116.7%	(100.0%)	
		活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—	
		活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—
		実 績（見 込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—	
		終期設定	有（ ） ・ 無				
改善基準							
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		「女性活躍推進センター」を中心に、女性活躍推進専門員が、企業への個別訪問や課題解決のためのトップ層の意識改革や女性社員のモチベーション向上のための研修を実施するなど、総合的な支援や女性活躍の底上げに繋げている。		女性活躍推進専門員による企業訪問等を通じて、女性活躍に向けた取組が広く県内企業に波及している。また、令和6年度に新たに創設した認定制度については、経済・労働等の各種団体と連携により普及を推進することによって広がりを見せており、「女性の活躍推進」に向けた意識が醸成されつつあるといえる。		
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など		R4からミモザ企業認定数を指標とすることで、県内の女性活躍の推進状況を効率的に把握し、効果的な業務執行を実現している。また、個別相談支援についても、オンラインでの相談を可能とするなど工夫を行っている。				
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他						
評価	説明	・女性の就業率や県外転出が課題であることを踏まえ、女性が働きやすい環境整備を進めるため、関係団体との連携・協働の取組を進め、特に中小企業における取組の推進を引き続き促すことが必要なことから、市町・経済関係団体等と連携し、女性活躍推進のための効果的な事業展開を実施していく。 ・セミナー参加や個別相談を実施している企業であっても、トップの意識改革が十分でないために企業内での取組に繋がらず、結果として女性活躍推進が図られていない企業が多いことから、従来から実施する個別相談等における説明内容・方法の工夫により、トップへの動機付けに繋がる改善を検討していく。 ・ミモザ企業は3年毎の更新制度としており、フレッシュミモザ企業は更新制度がなく、制度開始時の認定企業は令和9年度末で認定期間が終了するため、ミモザ企業の更新や認定に向け、女性活躍推進センターと協働して支援していく。					
		評価					

事務事業評価調査

事業名	人権擁護推進等事業費補助					部(局)	県民生活部			
						所管課	総務課人権推進室			
						担当班	人権推進班			
						連絡先	078-362-9135			
開始年度	令和5年度	終了年度	令和9年度	関連計画等	兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針					
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()					実施主体等	県内市町			
事業目的	近年、社会情勢の変化により、部落差別をはじめ外国人へのヘイトスピーチや性的マイノリティへの偏見等、人権問題は多様化・複雑化している。これらの問題に柔軟かつ効果的に対応し人権を擁護するため、市町が実施する地域に密着した啓発事業や先駆的な事業を引き続き支援し、本県が取り組む「人権文化をすすめる県民運動」の一層の展開を図る。									
事業概要	市町が実施する人権施策のうち、「啓発支援事業」として講演会等の開催経費、啓発冊子等の作成・購入・配布経費について補助を行うとともに、「擁護推進事業」中に「重点施策普及促進事業」を補助枠として設定し、部落差別、外国人、障害者、性的マイノリティに関する人権啓発活動に係る経費について補助を行う。(補助率1/3)									
これまでの改善状況	S54～「同和問題啓発事業費補助」同和対策特別措置法の延長を契機に、従来の物的事業から啓発事業を展開するため市町に対する補助制度として創設(補助率1/2、上限1,000千円) H9～「人権啓発事業費補助」人権同和対策のみでなく、あらゆる差別の解消を図ることを目的に補助対象を拡充(補助率1/2、上限1,500千円) H20～人権啓発事業の定着等に伴い、補助率を1/3に変更(上限833千円(H23～766千円)) H25～先駆的・モデル的事業の普及を促進するため、「一般事業」と「特別事業」の補助枠を設定(上限730千円) R5～人権侵害の抑止や人権救済へ繋ぐ取組の強化のため、事業を組み替え、「人権擁護推進等事業費補助」として、新たに人権擁護に係る事業を支援する「擁護推進事業」の補助枠を設定									
業務フロー	交付申請(市町)→受付・審査・交付決定(県)→事業実施(市町)→実績報告(市町)→実績確認・確定(県)									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		13,339 千円		13,210 千円		13,085 千円		18,925 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	13,339 千円		13,210 千円		13,085 千円		18,925 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(13,339千円)		(13,210千円)		(13,085千円)		(18,925千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		19,380 千円		18,925 千円		18,925 千円		18,925 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		68.8%		69.8%		69.1%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,475 千円		2,586 千円		2,665 千円		2,831 千円	
	職員給与費 a		2,147 千円		2,217 千円		2,296 千円		2,462 千円	
	賞与引当金繰入額 b		178 千円		187 千円		198 千円		187 千円	
退職手当引当金繰入額 c		150 千円		182 千円		172 千円		182 千円		
総コスト (①+③)		15,814 千円		15,796 千円		15,750 千円		21,756 千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	40%	40%	40%	40%	40%
	年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っている と思う人の割合（兵庫のゆたかさ指標）	実 績（見 込）	36.1%	36.0%	37.1%	(37.5%)	【令和9年度】
		(単位当たりコスト)	(438 千円)	(439 千円)	(425 千円)	(580 千円)	
		達 成 率（見 込）	90.3%	90.0%	(92.8%)	(93.8%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—
		実 績（見 込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—
		実 績（見 込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
		活動指標（アウトプット指標①）	目 標	41市町	41市町	41市町	41市町
	当該補助申請市町数	実 績（見 込）	41市町	41市町	41市町	(41市町)	【令和9年度】
		(単位当たりコスト)	(386 千円)	(385 千円)	(384 千円)	(531 千円)	
		達 成 率（見 込）	100.0%	100.0%	100.0%	(100.0%)	
		活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—
		実 績（見 込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
達 成 率（見 込）		--	--	--	--		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—	—
	実 績（見 込）	—	—	—	—	—	
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達 成 率（見 込）	--	--	--	--		
	終期設定	☒ 有（ 令和9年度 ） ・ 無					
改善基準	成果指標の目標年次の達成率100%						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ 部落差別や性的マイノリティへの偏見等、多様化する人権課題への対応は、県民ニーズが高いと考えられ、県と市町が連携して人権施策を推進する上で本事業は有効性が高い。 ・ R5年6月にLGBT理解増進法が施行され、地方公共団体の責務として、理解の増進に関する施策を策定・実施に努めることとされており、より一層の人権施策が求められている。 ・ 中立・公平な事業展開が求められるとともに、収益性の見込めない事業であり、基本的に民間の参入は望めない。		・ 県内全市町が当該制度を活用し、様々な人権課題に対応するための事業を実施している。			
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	・ 申請書の審査を行い、費用対効果の低いと考えられる事業は対象外としている。 ・ 事務処理の大部分について、福祉部総務課補助金・統計班において、ICTを最大限に活用した効率的な事務処理を実施している。					
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 県と市町が連携した効果的な人権推進事業を実施するうえで、当補助金はその充実に大きな役割を果たしており、継続が必要である。今後は、インターネット上の誹謗中傷や、性的マイノリティの人権問題など多様化する人権課題に対応した事業を市町が取組めるよう促していく。						

事務事業評価調書

事業名	ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	県民躍動課				
					担当班	参画協働班				
					連絡先	078-362-4000				
開始年度	平成25年度	終了年度	—		関連計画等	—				
事業区分	☒ 国補助事業 ☐ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等	県				
事業目的	兵庫を元気にしているすごい人物“すごいすと”や、参画と協働のまちづくりを進める地域コミュニティ等、様々な角度から地域を元気にし、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報を発信することで、地域活性化及び県民のふるさと意識の醸成を図る。									
事業概要	(1) ウェブマガジン「ふるさと兵庫“すごいすと”」の制作 地域を元気にしている人や、地域コミュニティ団体等に取材を行い、活動のきっかけや思い・今後の展望等を記事にして、すごいすとHPにて公開 (2) HYOGOの地域づくりアドバイザー！すごいすと派遣事業 “すごいすと”で取り上げられた方々を「地域づくりアドバイザー」として県内の地域づくり活動団体へ紹介・派遣し、県がその経費の一部を補助									
これまでの改善状況	H25:事業開始 H27:「未来のすごいすと（地域づくりに取り組む若者で構成されるグループ）」の制作を開始 R1:「Co+Coすごい（地域づくりに取り組む地域コミュニティグループ）」の制作を開始 R3:未来のすごいすとをCo+Coすごいに統合 R4:これまで蓄積してきたすごいすとの活用を図るため、すごいすとをアドバイザーとして地域づくり団体に派遣し、地域課題の解決に直接アプローチできる仕組みを整備 R5:これまで蓄積してきたすごいすとの活用と、活動の輪の拡大を図るため、すごいすとと地域づくり活動に興味を持つ県民との交流会を開催（豊岡、加古川）。すごいすとの周知を図るため、タブロイド紙を発行。 R6:SNSの活用やタブロイド紙の発行に加え、新たにティザー動画やPodcastを制作し、HP以外のコンテンツを充実させることでメディアミックスによる周知を図った。すごいすとと県民との交流会に加え、すごいすと同士の交流会を実施した（神戸）。 R7:引き続きメディアミックスによる周知や、すごいすとと県民の交流会（神戸）を開催するとともに、すごいすとのもとで若者が地域活動を体験する「地域のネクストリーダー発掘プロジェクト」を別事業として実施する等、事業の横展開を図った。									
業務フロー	(1) 委託：1年ごとに企画提案コンペを実施し、最も優れた提案をした者に委託 (2) 補助：申請（地域づくり活動団体）→受付・審査（県）→交付決定（県）									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		10,971 千円		11,056 千円		11,028 千円		11,056 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	9,199 千円		9,196 千円		9,200 千円		9,200 千円	
		補助金・交付金	755 千円		736 千円		1,282 千円		1,347 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	1,017 千円		1,124 千円		546 千円		509 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(5,485千円)		(5,528千円)		(5,514千円)		(5,528千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(5,486千円)		(5,528千円)		(5,514千円)		(5,528千円)	
	予算額②		10,971 千円		11,056 千円		11,028 千円		11,056 千円	
	※精算補正前の予算を記載									
	執行率（(①/②）×100）		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			8,250 千円		8,619 千円		8,884 千円		9,438 千円	
	職員給与費 a		7,156 千円		7,389 千円		7,653 千円		8,208 千円	
賞与引当金繰入額 b		594 千円		624 千円		659 千円		624 千円		
退職手当引当金繰入額 c		500 千円		606 千円		572 千円		606 千円		
総コスト（①+③）		19,221 千円		19,675 千円		19,912 千円		20,494 千円		

事務事業評価調書

指標名		区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
	すごいすとアクセスユーザー数 （月平均）	実 績（見 込）	6,236	5,143	5,374	(5,400)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(3 千円)	(4 千円)	(4 千円)	(4 千円)	
		達 成 率（見 込）	115.5%	95.2%	(99.5%)	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	300	450	前年度の目標 値＋前年度の 伸び幅 【各年度】
	すごいすとInstagramフォロワー数	実 績（見 込）	—	—	315	(450)	
		（単位当たりコスト）	—	—	(63 千円)	(46 千円)	
		達 成 率（見 込）	—	—	(105.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	—	—	10	10	10
	すごいすとHP記事公開数 （交流会レポート等も含む）	実 績（見 込）	—	—	15	(10)	【各年度】
（単位当たりコスト）		—	—	(1,327 千円)	(2,049 千円)		
達 成 率（見 込）		—	—	(150.0%)	(100.0%)		
活動指標（アウトプット指標②）	目 標	25	25	25	25	25	
HYOGOの地域づくりアドバイザー派遣 回数	実 績（見 込）	16	20	29	(25)	【各年度】	
	（単位当たりコスト）	(1,201 千円)	(984 千円)	(687 千円)	(820 千円)		
	達 成 率（見 込）	64.0%	80.0%	(116.0%)	(100.0%)		
終期設定	有（ ） ・ 無						
改善基準							
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		・ 本HPには定期的に関覧するユーザー が一定数存在しており、安定した閲覧 状況を維持している。今後はさらなる 認知拡大を図り、より多くのユーザー 数の獲得を目指す。 ・ R7年度以降、外部委員会意見に基づ き、「すごいすとアクセスユーザー数 （月平均）」及び「すごいすと Instagramのフォロワー数」をアウトカ ム指標に設定する。 ・ アドバイザー派遣については、実施 事例を分かりやすく発信することで活 用促進を図り、目標値を上回る派遣回 数の達成を目指す。		アクセスユーザー数の増加、ひいては住 民の地域への意識醸成に向けては、本事 業の魅力をさらに高める必要があり、県 広報プロデューサーの伴走支援を受ける ことで、より魅力的なコンテンツとなる よう工夫・改善を行っている。		
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 毎年コンペを実施し、優れた提案を もつ事業者を選定し、効果的な事業執 行を実施している。 ・ 各SNSの特性を整理し、媒体ごとの強 みを生かした効果的な情報発信を行っ ている。				
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他						
評価	説明						
	本事業の効果をより高めるためには、さらに多くの人にアクセスしてもらう必要がある。アクセスユーザー数の増加に向けては、本事業の魅力をより高める必要があり、引き続き広報専門人材や民間事業者の提案を取り入れながら、HP構成の精査や新たな企画を検討・実施するとともに、SNSの活用やタブロイド紙の発行、動画等の制作など、HP以外のコンテンツを充実し、メディアミックスによる周知を図っていく。 アドバイザー派遣については、より多くの団体の課題解決につながるよう、地域活動を支援する主体と連携し、本補助事業の効果的な周知・広報に取り組む。						

事務事業評価調書

事業名	競技スポーツ振興事業				部(局)	県民生活部文化スポーツ局				
					所管課	スポーツ振興課				
					担当班	競技・生涯スポーツ班				
					連絡先	078-362-9446				
開始年度	平成19年度	終了年度	—		関連計画等	第2期スポーツ推進計画				
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()					実施主体等	兵庫県スポーツ協会			
事業目的	県内スポーツ団体の有する人的財産(トップアスリートやトップコーチ等)を活用して国スポ選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。 また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することで、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。									
事業概要	公益財団法人兵庫県スポーツ協会が行う下記事業に対して補助 ・選手発掘・育成事業(ジュニア選手の発掘・育成事業、強化事業、トップアスリート等の活用促進事業) ・推進体制の整備事業(選手体験プログラム事業、強化体制充実プログラム事業、アスリートサポート事業) ・指導者養成事業(指導者養成プログラム事業) ・スーパーアスリート事業(能力向上体験プログラム事業、医・科学体験プログラム事業、能力発掘・育成プログラム事業)									
これまでの改善状況	令和5年度～ 既存事業の整理・見直しを行った上で、下記のとおり改善を図った。 ・広報にかかる経費をおさえるため、競技団体や各市町等への印刷物は、可能な限りオンライン(電子メールへ添付)などに対応し、大幅な削減を行った。 ・選手・指導者の県内への定着を図るため、アスリートキャリアフォーラム事業を実施し、本県企業関係者と選手・指導者との相互理解を深めた。									
業務フロー	申請(4月)(兵庫県スポーツ協会)→受付・審査(4月)(県)→交付決定(4月)(県)→事業実施(4～3月)(兵庫県スポーツ協会)→実績報告(3月)(兵庫県スポーツ協会)									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		190,832 千円		185,128 千円		176,190 千円		194,906 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	190,832 千円		185,128 千円		176,190 千円		194,906 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(190,832千円)		(185,128千円)		(193,012千円)		(193,012千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		198,317 千円		194,933 千円		193,012 千円		194,906 千円	
	執行率((①/②)×100)		96.2%		95.0%		91.3%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
			3,300 千円		3,448 千円		3,554 千円		3,775 千円	
	職員給与費 a		2,862 千円		2,956 千円		3,061 千円		3,283 千円	
賞与引当金繰入額 b		238 千円		250 千円		264 千円		250 千円		
退職手当引当金繰入額 c		200 千円		242 千円		229 千円		242 千円		
総コスト(①+③)		194,132 千円		188,576 千円		179,744 千円		198,681 千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区 分	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度目標	最終目標【年度】
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	22	24	26	28	28団体
評価	国民スポーツ大会で入賞する競技団体数の増加	実績（見込）	21	20	21	(28)	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(9,244 千円)	(9,429 千円)	(8,559 千円)	(7,096 千円)	
		達成率（見込）	95.5%	83.3%	80.8%	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000人
		実績（見込）	5,113	6,448	4,576	(7,000)	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(38 千円)	(29 千円)	(39 千円)	(28 千円)	
		達成率（見込）	73.0%	92.1%	65.4%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） 無（ ）					
	改善基準	国民スポーツ大会で入賞する競技団体数が前年を3年連続で下回った場合に見直しを検討					
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているかなど		ジュニア世代～トップアスリートへの育成により競技水準の向上が図られていることやスポーツ人口の裾野拡大に寄与していることから本事業は有効である。		国民スポーツ大会で入賞する競技団体数は、ジュニア期からの一貫した指導による選手発掘・育成を継続してきたが、令和7年度の目標値を下回った。 ジュニアスポーツ教室の参加者数は前年度を下回り、目標達成には至らなかった。 一方で、子どもを対象としながらも評価指標の対象となっていない事業が複数あり、子どもにスポーツ体験を提供する場は拡大している。 有望選手の県外流出が課題となっており、今後も国民スポーツ大会で入賞する競技数を増加させるために、更なる取組が必要。		
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているかなど		一部事業については、オンライン等を活用して対応することによりコスト削減を行うなど、効率的に実施している。				
	課題・今後の方向性						
評価	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他						
	説明 アスリート・指導者に対して、競技生活をサポート及びセカンドキャリアの保障をする県内の中小企業が少ないうえ、県外にアスリート等が流出している。今後は有望選手の県外流出の阻止と選手確保のためにアスリートキャリアフォーラム事業を通じて、アスリートと県内企業の相互理解を深める。 また、令和8年度より「アスリート・県内企業就職サポート事業」を実施し、アスリート等の受け入れ企業を増やし、国民スポーツ大会に出場し優秀な成績を収める環境づくりを行う。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	神戸マラソンの開催				部(局)	県民生活部				
					所管課	スポーツ振興課				
					担当班	マラソン班				
					連絡先	078-325-1430				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画					
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☒ その他(負担金)				実施主体等	神戸マラソン実行委員会				
事業目的	兵庫県と神戸市が「元気な兵庫の実現(兵庫県)」「健康を楽しむまちづくり(神戸市)」の実現に向け、ランニングを核としたスポーツのさらなる振興を図り、震災復興の教訓・感謝と兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、フルマラソン大会を開催する。									
事業概要	日時：11月の第3日曜日に開催 種目：フルマラソン、リレーラン 定員：2万人 制限時間：7時間 コース：神戸市役所前(スタート)～明石市大蔵海岸(折り返し)～神戸ハーバーランドガス燈通り(ゴール)									
これまでの改善状況	平成27年度～令和5年～ 競技性向上のため、 ^ア 獲得とエリートランナーを招聘する等による改善 神戸マラソン将来構想検討委員会からの提言等を踏まえ、以下の項目について見直しを検討 ①フィニッシュ場所の変更、②新たなコース設定、③多様な種目設定、④インバウンド対策、 ⑤ブランド化による持続可能な大会運営 令和7年～ 新コースでの大会実施									
業務フロー	申請(4月)(神戸マラソン実行委員会)→協定締結(4月)(県) →事業実施(4月～3月)(神戸マラソン実行委員会) →実績報告書(3月)(神戸マラソン実行委員会)									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		68,883 千円		68,883 千円		68,883 千円		68,883 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	68,883 千円		68,883 千円		68,883 千円		68,883 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(68,883千円)		(68,883千円)		(68,883千円)		(68,883千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		68,883 千円		68,883 千円		68,883 千円		0 千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%		100.0%		100.0%		—	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人
			66,000 千円		68,952 千円		71,072 千円		75,504 千円	
	職員給与費	a	57,248 千円	59,112 千円	61,224 千円	65,664 千円				
	賞与引当金繰入額	b	4,752 千円	4,992 千円	5,272 千円	4,992 千円				
	退職手当引当金繰入額	c	4,000 千円	4,848 千円	4,576 千円	4,848 千円				
総コスト(①+③)		134,883 千円		137,835 千円		139,955 千円		144,387 千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区 分	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度目標	最終目標【年度】
	成果指標（アウトカム指標①） 大会全体のランナー満足度 ※アンケートにより「大会に満足した」と回答したランナーの割合	目 標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
評価		実績（見込）	97.3%	94.1%	91.3%	(100.0%)	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(138,626 千円)	(146,477 千円)	(153,291 千円)	(144,387 千円)	
		達成率（見込）	97.3%	94.1%	91.3%	(100.0%)	
		目 標	—	—	—	—	—
	成果指標（アウトカム指標②）	実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
		目 標	—	—	—	—	—
	成果指標（アウトカム指標③）	実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
		目 標	—	—	—	—	—
指標	活動指標（アウトプット指標①） ボランティア参加者数	目 標	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		実績（見込）	6,188	6,169	5,955	(6,000)	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(23 千円)	(23 千円)	(24 千円)	(24 千円)	
		達成率（見込）	103.1%	102.8%	99.3%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準	大会全体のランナー満足度が前年を3年連続で下回った場合に見直しを検討					
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているかなど		ランナーと沿道応援を含めた約60万人を兵庫に呼び込むことで、震災復興の教訓・感謝と兵庫の魅力を発信する上で本事業は有効である。		将来構想検討委員会からの提言を踏まえ、2025大会より新コースで実施している。ランナーアンケートにより、給水・給食、トイレの適正な配置など、ランナーの意見を反映させることで、より魅力ある大会を実施した。 ボランティア参加者数については、同時期に流行したインフルエンザによるキャンセルの影響で、未達成となったが、効率的な大会運営により、大会開催においては特段の影響は生じなかった。 各ボランティアの拘束時間等負担を軽減するため、業務内容及び配置計画等の見直しにより、目標数の充足を目指し、ランナー募集と合わせて広報等を強化する。		
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているかなど		参加しやすい大会を目指し、他大会の参加料水準を見ながら、人件費や資機材の高騰分を警備計画や各種イベントの実施を見直し、経費削減に取り組んだ。				
	課題・今後の方向性 改善 他事業と統合 その他 説明 ・ 将来構想検討委員会からの提言を踏まえ、大会の魅力向上等に取り組む。 ・ 2025大会から実施の新たなコースの特性を活かし、魅力的な大会づくりに取り組む。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	「関西マスターズゲームズ in HYOGO」開催事業				部(局)	県民生活部文化スポーツ局					
					所管課	スポーツ振興課ワールドマスターズゲームズ推進室					
					担当班	企画広報班					
					連絡先	080-4322-1858					
開始年度	平成26年	終了年度		関連計画等	第2期スポーツ推進計画						
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業										
実施方法	☐ 直執行 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等						
事業目的	「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の開催に向けて醸成してきたスポーツ機運を継続し、すそ野をさらに広げるため、「ひょうご生涯スポーツ大会」を「関西マスターズゲームズ」の冠称大会とし、広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供したりすることにより、生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活の実現に資する。										
事業概要	ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会に以下の事業を委託。 ①広報イベント：各競技別大会に参加する仲間と集い、ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催に向けて県民へ広く広報活動を行い、生涯スポーツの振興に繋げる。 ②競技別大会（ひょうご生涯スポーツ大会）：ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催に向けてスポーツ機運の醸成を図り、すそ野をさらに広げるため、「ひょうご生涯スポーツ大会」を「関西マスターズゲームズ」の冠称大会とし、広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供する。 ③県民ふれあい大会：兵庫県生涯スポーツ連合と連携し、こころ豊かな生活をめざし、生涯を通じて楽しみ、喜びを味わえる生涯スポーツ活動の体験と交流を図り、だれでも、いつでも、どこでも、気軽に参加できる生涯スポーツ活動を推進する。										
これまでの改善状況	—										
業務フロー	委託契約の締結（4月） 競技別大会の開催（4月～3月） 県民ふれあい大会・広報イベントの開催（11月） 履行確認（3月）										
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額		
	事業費①		6,072 千円		5,579 千円		4,760 千円		4,361 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		委託料	3,681 千円		3,215 千円		3,754 千円		4,361 千円		
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
		その他	2,391 千円		2,364 千円		1,006 千円		0 千円		
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		（特定）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		（起債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
		（一般財源）	(6,072千円)		(5,579千円)		(4,760千円)		(4,361千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		6,072 千円		5,579 千円		4,760 千円		4,361 千円		
	執行率（(①/②）×100）		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		
	人件費③（a+b+c）		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
			2,475 千円		2,586 千円		2,665 千円		2,831 千円		
			職員給与費 a	2,147 千円		2,217 千円		2,296 千円		2,462 千円	
			賞与引当金繰入額 b	178 千円		187 千円		198 千円		187 千円	
			退職手当引当金繰入額 c	150 千円		182 千円		172 千円		182 千円	
	総コスト（①+③）		8,547 千円		8,165 千円		7,425 千円		7,192 千円		

事務事業評価調書

	指標名	区 分	5 年度実績	6 年度実績	7 年度実績	8 年度目標	最終目標【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①） 成人のスポーツ実施率 （R3 まで目標値なし）	目 標	65.8%	67.2%	68.6%	70.0%	73%	
		実 績（見 込）	61.0%	65.8%	66.0%	70.0%	【令和13年度】	
		（単位当たりコスト）	（14,011 千円）	（12,408 千円）	（11,250 千円）	（10,275 千円）		
		達 成 率（見 込）	92.7%	97.9%	96.2%	100.0%		
	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
	指標	活動指標（アウトプット指標①） 「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会数	目 標	64	64	64	64	64
			実 績（見 込）	54	45	48	(64)	【令和13年度】
			（単位当たりコスト）	(158 千円)	(181 千円)	(155 千円)	(112 千円)	
			達 成 率（見 込）	84.4%	70.3%	75.0%	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目 標	—	—	—	—		
		実 績（見 込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
終期設定		有（ ） ・ 無						
改善基準								
自己評価		評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているかなど		本事業の実施により、県民に対しスポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供するとともに、ワールドマスターズゲームズ2027関西への機運醸成を図るのに有効である。		引き続きワールドマスターズゲームズ2027関西に向けた啓発活動を行うとともに、生涯スポーツの振興、情報発信を続けていく。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		ワールドマスターズゲームズ2021関西兵庫県実行委員会と連携した広報活動を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。					
課題・今後の方向性	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他							
評価	説明	「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会数の増加と成人のスポーツ実施率の達成状況の相関性を踏まえ、各競技団体が運営する「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会内容の実態把握を行い、取組内容の改善を促すことで成人のスポーツ実施率の増加を図る。						

事務事業評価調書

事業名	スポーツ大会招致事業（「はばタンスポーツ基金」活用事業）				部(局)	県民生活部文化スポーツ局
					所管課	スポーツ振興課
					担当班	競技・生涯スポーツ班
					連絡先	078-362-9446
開始年度	平成19年度～	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画	
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業					
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	競技団体
事業目的	国際大会、全国規模の大会を誘致し県民に質の高い競技を観戦する機会を提供することで、本県のスポーツに関する競技水準の向上、県民のスポーツへの関心を深める。					
事業概要	競技大会実施団体（公益財団法人兵庫県スポーツ協会加盟競技団体及び上部団体が公益財団法人日本スポーツ協会又は公益財団法人日本オリンピック委員会に加盟している県内のスポーツ団体）が全国規模の競技大会開催に要する経費を補助					
これまでの改善状況	平成19年度～平成25年度～ 1大会上限50万円として基金運用益の範囲内で助成 運用方法変更に伴い、安定的な運用利息が見込めることから、助成要件を拡充 1大会上限100万円として600万円の範囲内で助成 令和4年度～ 大会の主催・主管団体を、県スポーツ協会加盟競技団体だけでなく、上部団体が(公財)日本スポーツ協会及び(公財)日本オリンピック委員会に加盟している県内のスポーツ団体まで拡充。集客を目的とした内容や広報にも補助金を使用できるよう、対象経費に柔軟性を持たせ、競技大会開催に要する経費（食糧費、備品購入費等は除外）と変更国際大会や全国規模の大会の県内開催の定着を目指すこと、またスポーツへの興味・関心を高める観点から、3年以上連続で開催される大会については、3年間の継続補助を行う。 令和7年度～ ワールドマスターズゲームズ2027関西開催までの2年間（令和7・8年度）に限り補助件数を増加（1件分、1,000千円） 令和8年度～ 例年兵庫県で開催される大会については、すでに県内開催が定着しており、継続補助の趣旨から外れるため、毎年兵庫県で開催している大会は継続補助の対象外とした。 新たに兵庫県に誘致する大会については、引き続き3年間の継続補助を行う。					
業務フロー	事業周知【前年4月、対象：県スポーツ協会加盟競技団体】 → 仮申請【前年（1回目）4月～9月、（2回目）10月～2月】→ 仮受付・仮審査 → 正式申請 → 受付・審査 → 決定通知 → 大会実施					

区 分		5年度決算額	6年度決算額	7年度決算額	8年度当初予算額
事業に要するコスト	事業費①	5,000 千円	6,000 千円	6,250 千円	7,000 千円
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	5,000 千円	6,000 千円	6,250 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(5,000千円)	(6,000千円)	(7,000千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		6,000 千円	6,000 千円	7,000 千円
	執行率（(①/②）×100）		83.3%	100.0%	100.0%
	人件費③（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人
			2,475 千円	2,586 千円	2,666 千円
	職員給与費 a		2,147 千円	2,217 千円	2,296 千円
	賞与引当金繰入額 b		178 千円	187 千円	187 千円
	退職手当引当金繰入額 c		150 千円	182 千円	182 千円
	総コスト（①+③）		7,475 千円	8,586 千円	8,916 千円
				9,831 千円	

指標名		区 分	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	65.8%	67.2%	68.6%	70.0%	73.0%
	成人のスポーツ実施率	実績（見込）	61.0%	65.8%	66.0%	—	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(14,616 千円)	(14,941 千円)	(14,895 千円)	—	
		達成率（見込）	92.7%	(97.9%)	(96.2%)	—	
成果指標（アウトカム指標②）	目 標	86.7%	87.5%	88.2%	89.0%	93.0%	
評価	運動・スポーツが好きな子どもの増加	実績（見込）	86.1%	86.6%	86.3%	—	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(10,355 千円)	(11,352 千円)	(11,392 千円)	—	
		達成率（見込）	99.3%	(99.0%)	(97.8%)	—	
	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	467	472	476	480	500人
評価	国民スポーツ大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	実績（見込）	537	440	626	—	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(17 千円)	(22 千円)	(16 千円)	—	
		達成率（見込）	115.0%	(93.2%)	(131.5%)	—	
	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	6	6	9	6	6
評価	兵庫県で開催する国際大会、全国規模の競技大会数	実績（見込）	5	6	8	(6)	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(1,783 千円)	(1,639 千円)	(1,229 千円)	(1,639 千円)	
		達成率（見込）	83.3%	(100.0%)	(88.9%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	
評価		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
評価		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価					
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	補助金を助成することで競技団体が大会を招致しやすく、県民が質の高い大会を見る機会を提供することができる。		目標に対する達成状況（総合的評価） 令和4年度までは同一大会の複数回補助は認めていなかったが、令和5年度より3年以上継続して県内で開催する大会については、大会の定着を図る目的で3年間に限り補助対象とした。この変更により、従前から本県で開催されていた大会については、より開催がしやすくなった一方で、すでに開催基盤が整っている大会が繰り返し補助対象となり、同一競技に補助が偏る傾向が見られた。このため、令和8年度より、すでに県内での開催が定着している大会は継続補助の対象外とし、新たに兵庫県に誘致する大会を継続補助の対象とすることに改めた。多様な競技が開催できるよう引き続き関係団体へ働きかけていく。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	令和5年度より、対象経費を競技大会開催に要する経費（一部対象外経費あり）と対象大会に柔軟性を持たせたことで、競技団体にとって全国レベルの大会を招致しやすくなっている。					
課題・今後の方向性	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他						
	説明 パリオリンピックにおいてブレイキン（ブレイクダンス）が採用されるなど、多様なスポーツへの関心が高まっている。様々な競技の競技人口の裾野拡大や運動・スポーツが好きな子どもの増加、成人のスポーツ実施率を高めるため、様々な競技大会が本県で開催され、県民が間近で観戦できる機会が提供できるよう、対象大会の基準の改善を検討。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	進化する犯罪への対応（「匿名・流動型犯罪グループ」対策）					部(局)	県民生活部			
						所管課	特殊詐欺対策・くらし安全課			
						担当班	特殊詐欺等対策班			
						連絡先	078-362-3163			
開始年度	令和7年度	終了年度	令和9年度	関連計画等	—					
事業区分	☒ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()					実施主体等	県			
事業目的	特殊詐欺被害が依然として高水準で推移していることに加え、SNS型投資・ロマンス詐欺による被害が急増している。 一方、近年、社会問題となっている「匿名・流動型犯罪グループ」の主な資金源は詐欺であり、また、受け子・出し子等の犯罪実行者募集は、SNS等のインターネットが活用され、青少年等が安易に特殊詐欺をはじめとする犯罪に加担する契機となっている。 極めて巧妙で、新たな手口が次々と生まれる状況において、特殊詐欺等の手口や対策を積極的に広く周知するとともに、青少年等が事の重大性を十分に認識することなく、アルバイト感覚で犯罪に加担することのないよう啓発を行うことで、県民の意識醸成を図り、特殊詐欺等被害の未然防止及び犯罪実行者を生まないための対策を講じる。									
事業概要	(1) 関係機関と連携した普及啓発 ① SNS広告の配信 ② 被害手口・対策リーフレット、啓発グッズ作成 ③ 市町や地域の防犯グループ等との連携 ④ 押収名簿掲載者への注意喚起 (2) 特殊詐欺等集中対策本部会議の開催 (3) 関係者連絡調整会議の設置・開催									
これまでの改善状況	—									
業務フロー	関係機関等と連携の上、県で直執行									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		0 千円		0 千円		10,000 千円		10,697 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		627 千円		0 千円	
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		9,373 千円		10,697 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(5,000千円)		(4,250千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(5,000千円)		(6,447千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0 千円		0 千円		10,000 千円		10,697 千円	
	執行率（(①/②）×100）		0.0%		0.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			0 千円		0 千円		8,884 千円		9,438 千円	
	職員給与費 a		0 千円		0 千円		7,653 千円		8,208 千円	
	賞与引当金繰入額 b		0 千円		0 千円		659 千円		624 千円	
退職手当引当金繰入額 c		0 千円		0 千円		572 千円		606 千円		
総コスト（①+③）		0 千円		0 千円		18,884 千円		20,135 千円		

評価	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	-	-	100	100	100.0%
価	特殊詐欺等被害手口や対策の認知度の向上	実 績（ 見 込 ）	-	-	100	(100)	【令和9年度】
		（単位当たりコスト）	-	-	(189 千円)	(201 千円)	
		達 成 率（ 見 込 ）	-	-	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	-	-	30	50
	SNS型投資・ロマンス詐欺、闇バイト等の認知度の向上	実 績（ 見 込 ）	-	-	30	(50)	【令和9年度】
		（単位当たりコスト）	-	-	(629 千円)	(403 千円)	
		達 成 率（ 見 込 ）	-	-	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	-	-	-	-
		実 績（ 見 込 ）	-	-	-	-	
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-	
		達 成 率（ 見 込 ）	-	-	-	-	
		活動指標（アウトプット指標①）	目 標	-	-	20	20
指	講習会の実施	実 績（ 見 込 ）	-	-	33	(35)	【令和9年度】
		（単位当たりコスト）	-	-	(572 千円)	(575 千円)	
		達 成 率（ 見 込 ）	-	-	(165.0%)	(175.0%)	
		活動指標（アウトプット指標②）	目 標	-	-	4	4
	県警と連携したPRキャンペーンの実施	実 績（ 見 込 ）	-	-	6	(6)	【令和9年度】
		（単位当たりコスト）	-	-	(3,147 千円)	(3,356 千円)	
		達 成 率（ 見 込 ）	-	-	(150.0%)	(150.0%)	
		活動指標（アウトプット指標③）	目 標	-	-	-	-
		実 績（ 見 込 ）	-	-	-	-	
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-	
		達 成 率（ 見 込 ）	-	-	-	-	
		標	終期設定	有（令和9年度） ・ 無			
	改善基準	終期設定のR9年度を目途に、事業成果や目標達成度合を踏まえ内容を見直し					
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているかなど		特殊詐欺の被害状況や最新の手口を注視しながら、市町・県民のニーズを踏まえた講習会等を実施している。		県内各地できめ細かく被害対策講習会を開催するとともに、利用者が多い施設等での普及啓発など、広く被害防止対策キャンペーンを実施しており、特に講習会については地域団体や県民からの依頼により目標回数を大きく超えた開催となった。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているかなど		SNSや県・市町ホームページによる特殊詐欺に係る情報発信、県警や学生ボランティアと連携したキャンペーン等、積極的な普及啓発活動を行っている。				
	課題・今後の方向性 ☐ 改善 ☐ 他事業と統合 ☒ その他						
評	説明						
	引き続き県内各地での講習会やキャンペーン、SNS等により多様化する特殊詐欺の手口や被害防止対策について幅広い周知を図るほか、青少年等がアルバイト感覚で犯罪に加担することのないよう啓発を行うことで、県民の意識醸成を図り、特殊詐欺等被害の未然防止及び犯罪実行者を生まないための対策を講じていく。						
価							

事務事業評価調書

事業名	法改正を踏まえた自転車交通安全周知事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	特殊詐欺対策・くらし安全課				
					担当班	交通安全対策班				
					連絡先	078-362-3879				
開始年度	令和7年度	終了年度	令和9年度	関連計画等	兵庫県自転車活用推進計画					
事業区分	☒ 国補助事業 ☐ 県単独事業									
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()					実施主体等	県			
事業目的	令和8年5月までに16歳以上の自転車利用の交通違反について交通反則切符が適用となるが、自転車利用者の規範意識は自動車に比べて低く、自転車の交通ルール周知については十分な機会がない。今後制度適用にあたり混乱をきたさぬよう、これまで以上に多くの県民にわかりやすく周知するため、法改正を前後に自転車の交通法規を広くわかりやすく周知し、安全利用の促進を図る。									
事業概要	① 自転車の交通ルールや法改正の概要を盛り込んだ啓発動画を作成し、高等学校における教材として活用するとともに、交通安全イベント等で上映するなど、自転車の安全利用に関する普及啓発を実施した。 ② 啓発ポスター等を作成・配布するとともに、県警、市町、自転車販売店をはじめとする関係機関・団体と連携し、自転車の安全利用に関する広報啓発活動を実施した。 ③ 生徒が主体となって自転車用ヘルメットの着用を含む自転車の安全利用に取り組む高等学校を「自転車安全利用モデル校」として指定し、官民連携による支援を実施した。 ④ 高校生の発想やアイデアを活かした自転車安全利用の啓発を推進するため、令和8年度から「自転車安全利用コンテスト」を開始した。									
これまでの改善状況	「自転車安全利用モデル校」の取組に加え、自転車の安全利用がより多くの県民に伝わるようR8年から生徒一人ひとりが自ら考え、自転車の安全利用について主体的に発信する「自転車安全利用コンテスト」を開始した。									
業務フロー	県→【啓発チラシ（紙・データ）】→〔地区交通安全協会・市町・交通安全ネットワーク等〕→県民 県→【啓発動画】→〔県HP等〕→県民 県→【交通安全教室】→高校生等									
事業に要するコスト	区 分		5年度決算額		6年度決算額		7年度決算額		8年度当初予算額	
	事業費①		0 千円		0 千円		5,072 千円		3,215 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		2,000 千円		990 千円	
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		3,072 千円		2,225 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(2,536千円)		(1,607千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(2,536千円)		(1,608千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0 千円		0 千円		5,072 千円		3,215 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		0.0%		0.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員		従事人員		従事人員	0.8人	従事人員	0.8人
			0 千円		0 千円		7,107 千円		7,550 千円	
	職員給与費 a		0 千円		0 千円		6,122 千円		6,566 千円	
	賞与引当金繰入額 b		0 千円		0 千円		527 千円		499 千円	
退職手当引当金繰入額 c		0 千円		0 千円		458 千円		485 千円		
総コスト (①+③)		0 千円		0 千円		12,179 千円		10,765 千円		

	指標名	区 分	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 実績	8 年度 目標	最終目標 【年度】
評	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	—	—	81.6	74.1	66.6%
	自転車乗用中の死傷者違反率 (R5全国平均66.6%)	実 績（見 込）	—	—	87.2	(74.1)	【R9年度】
		(単位当たりコスト)	—	—	(140 千円)	(145 千円)	
		達 成 率（見 込）	—	—	(106.9%)	(100.0%)	
価	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	—	
	実 績（見 込）	—	—	—	—		
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
	達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
指	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	—	
	実 績（見 込）	—	—	—	—		
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
	達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	—	—	205	—	—
	高等学校での教材配布数 (校数)	実 績（見 込）	—	—	205	—	【R9年度】
		(単位当たりコスト)	—	—	(59 千円)	—	
		達 成 率（見 込）	—	—	(100.0%)	—	
指	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	10	10	10
	自転車交通安全講習会の開催数	実 績（見 込）	—	—	6	(10)	【R9年度】
		(単位当たりコスト)	—	—	(2,030 千円)	(1,077 千円)	
		達 成 率（見 込）	—	—	(60.0%)	(100.0%)	
指	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	
	実 績（見 込）	—	—	—	—		
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
	達 成 率（見 込）	—	—	—	—		
標	終期設定	(有) (令和 9 年度) 無					
	改善基準	自転車乗用中の死傷者違反率の結果を踏まえ検討					
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		交通安全は結果がすぐに出るものでなく、一方「誰もが安全・安心に暮らせる都市づくり」のためには欠かせない事業である。交通事故件数や死傷者数はこれまでの啓発や車両性能の向上により減少傾向であるが自転車関係事故の割合は増加傾向にある。自転車関係事故の約 9 割に交通違反があると言われているため自転車利用者の交通マナー向上により事故の減少が見込まれる。		令和7年の自転車乗用中死傷者の法令違反構成率は87.2%となり、目標値を上回ったことから、目標は未達成であった。交通安全教育、広報啓発及び街頭活動等に取り組んでいるものの、自転車利用者に交通ルールや安全行動が十分に浸透していないことなどが、目標未達成の要因として考えられる。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		官民連携により、高校生への自転車ヘルメット配布や県や県警ではできない独自の交通安全教室の開催などを実施している。				
	課題・今後の方向性						
評	☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他						
	説明						
価	交通安全には特効薬があるわけではなく、繰り返し継続した意識付け・注意喚起が大切であるため、今後も有効な手段を検討しながら、引き続き普及・啓発を実施していく。						